

平成 13 年度

福島県公立学校

教職員現職教育計画



福島県教育委員会

序

現在、高度情報化、国際化、少子高齢化など、変化の激しい時代にあって、これからの学校教育では、一人ひとりの児童生徒が豊かな人間性を培い、自らの課題を見つけ、自ら学び自ら考え、主体的に判断し問題を解決する力などの「生きる力」や社会の変化に柔軟に対応できる力を育むことが期待されております。そのため、県教育委員会は、これまでも、児童生徒一人ひとりの個性と家庭及び地域社会の実態を的確にとらえ、社会の変化に主体的に対応できる「明るく個性豊かな人間の育成」に努めてきたところであります。

平成11年12月の教育職員養成審議会第三次答申におきましては、教員の自主的・主体的研修活動の奨励・支援などが提言されております。このことは、教員一人ひとりに不断の自己改革を行う姿勢が求められているということであり、個々の教員の自発的・主体的な研究と修養が一層重要となるものと考えます。

県教育委員会では、平成13年度を初年度とし平成22年度を完成年度とし、「人・地域・自然と共に個を磨く新世紀ふくしまの教育」を基本目標とする第5次福島県長期総合教育計画を策定しました。その中で、教える力の強化を重要な柱として位置づけ、教職員の資質の向上を図るための「教職員現職教育計画」を策定し、初任者研修を起点とした教職に携わる全期間を通じて、体系的・計画的な研修の実施に努めることとしております。

また、平成13年度の計画の策定に当たりましては、生徒が自らの生き方を考え、主体的に進路を選択することができるような本来の進路指導のあり方に関する研修を新たに設けるとともに、管理職のリーダーシップがより一層求められることを踏まえて、職能研修を新たに位置づけるなど、研修内容の充実に努め、現職教育計画の一層の充実に努めたところであります。

各学校をはじめ関係機関におかれましては、本計画に基づき、それぞれの課題等を踏まえて教職員の研修を積極的に推進するとともに、子どもたちと共に自らを磨き続ける教職員を支援し、本県教育の質的な向上に努められるよう期待するものであります。

平成13年4月

福島県教育委員会教育長 高 城 俊 春

目 次

教職員研修計画

1	はじめに -----	1
2	教職員研修の構想 -----	1
3	教職員研修の体系	
(1)	基本研修 -----	1 ~ 2
(2)	職能研修 -----	2
(3)	専門研修 -----	2 ~ 3
(4)	特別研修 -----	3
(5)	校内現職研修 -----	3
(6)	研 究 -----	3
	【体系図】 -----	4
4	市町村教育委員会が行う研修 -----	5
5	平成13年度教職員現職教育計画「研修内容分類表」 -----	6 ~ 15
6	研修事業計画	
	教育指導課所管研修 -----	16 ~ 27
	教育振興課所管研修 -----	28
	養護教育課所管研修 -----	29 ~ 32
	スポーツ健康課所管研修 -----	33 ~ 35
	教育センター所管研修 -----	36 ~ 41
	養護教育センター所管研修 -----	42 ~ 44

研究学校（地区）指定計画 ----- 45 ~ 48

教育指導課主管指定校
養護教育課主管指定校
生涯学習課主管指定校
スポーツ健康課主管指定校

予定刊行物 ----- 49 ~ 50

教育指導課主管予定刊行物
養護教育課主管予定刊行物
スポーツ健康課主管予定刊行物
教育センター主管予定刊行物
養護教育センター主管予定刊行物

教職員現職教育担当者会議設置要綱 ----- 51

教 職 員 研 修 計 画

1 はじめに

県教育委員会は、教職員の資質や指導力の向上を図るため、毎年度、「福島県教職員現職教育計画」を策定し、体系的、計画的な研修を実施しています。

現行の研修体系においては、初任者研修を起点として、教職の全期間を通じて適切な時期に基本研修・職能研修・専門研修・特別研修を教職員の経験や職能に応じて、継続的、発展的に実施するとともに、各校の校内現職研修の充実に努め、教職員の資質や指導力の向上に努めることとしています。

平成13年度においては、学習指導要領の改訂において高等学校に新教科「情報」が設置されることから昨年度に引き続いて、教科担当教員を養成するための研修を設けるとともに、生徒が自らの生き方を考え、主体的に進路を選択することができるための進路指導のあり方に関する研修を新たに設けるなど研修内容の充実に努め、現職教育計画の一層の充実に目指しています。

本計画では教職員研修計画のほか、研究学校（地区）指定計画、予定刊行物を掲載しています。研究学校（地区）指定計画は、創意ある教育活動の推進のために先導的な研究を行っている学校（地区）の紹介及びその研究成果の普及を図るものであり、予定刊行物は、平成13年度に関係課・所で発刊を予定している刊行物を掲載したものです。

2 教職員研修の構想

教職員研修計画は、教職員の資質や指導力の向上を目指し、教育公務員特例法第19条ないし第20条の二の規定等に基づき、本県における公立学校教職員を対象として行う研修について、その体系的、効果的推進を図るため策定するものです。

研修計画の策定に当たっては、次に掲げる基本方針により構想するものです。

- (1) 教員自らが、豊かな人間性と魅力ある人格の陶冶を成し得るとともに、教育愛と使命感に裏付けられた深い専門性と優れた指導技術を習得し得る研修の機会を設けること。
- (2) すべての教職員が初任者研修を起点として、その後の教職歴における一定の時点ごとに必要とされる研修の機会を設けること。
- (3) 関係課・教育センター・養護教育センターが所管する各種研修会の相互の有機的な関連や自己研修・校内研修も含めた研修の一貫性を図ること。

3 教職員研修の体系

(1) 基本研修

初任者研修について

現職研修の第一段階として、新任の教員に対し実践的指導力と使命感を養うとと

もに、幅広い知見を得させるため、初任者研修を採用の日から一年間にわたり実施します。

なお、養護教諭・学校栄養職員等の新採用時に行う研修も同様の趣旨に沿って、それぞれの計画に基づいて実施します。

経験者研修 について

初任者研修に引き続き、5年程度の教職経験者等に対して行うもので、5年程度の経験を基盤に、教科指導や生徒指導等の力量の向上を図るとともに、社会の変化に対応した教育課題等について実践的な研修を進めます。

経験者研修 について

教職経験10年程度の教員は、校内外において学校教育活動の実践的な場で中核的立場を占める位置にあり、さらに、それまでの実績に裏打ちされた新たな視点、力量の向上、指導法の工夫改善が必要となる時期でもあります。そのため、10年程度の教職経験者等に対し、教科指導や生徒指導等、職責遂行上必要な専門的知識・技能等の資質・能力の向上を図るとともに、教科経営、学級・学年経営、校務分掌のリーダーとしての力量の向上を図ります。

経験者研修 について

初任者研修、経験者研修の内容を踏まえ、経験20年程度の実績等に留意し、教員個々の専門的知識・能力の深化や伸長を図るとともに、学級・学年経営等、全校的視野での教育活動の推進的立場として、広い視野に立った教育実践について力量の向上を図るため、各種の研修会等を経験者研修として位置づけて行います。

(2) 職能研修

職能研修 について

職能研修は、新任の校長・教頭・教務主任等に対して行う研修であり、学校経営等、教育活動の統括的役割について、その資質・能力の向上を図ります。

職能研修 について

学校の実態に応じた教育課程や諸教育活動が展開されるよう、校内の個々の教職員の役割分担や協力体制を築くため、個々の教職員の職責・職能に応じた教育活動に関する研修を職能研修として組織的に行います。

また、その際、研修内容等について重複したり、同一教職員の多重参加等がないよう、実施方法、研修内容等について毎年度見直しを行い、研修の精選、重点化を図り、研修が発展的に行われるよう配慮します。

職能研修 について

現職の校長・教頭等に対して行う研修であり、役職として求められる資質・能力を高めることを目的とします。

(3) 専門研修

専門研修 について

専門研修として、教育課程の改善等、学校教育の基盤となる事項について研修

を行います。平成13年度においては、教育課程実施上の諸問題に関する専門的な研修を実施し、新学習指導要領の趣旨の徹底を図るための研修を中心に実施します。

専門研修 について

専門研修 として、実践を土台とした各種の研修・研究を行います。

また、個に即応した指導力の向上を図るほか、社会の変化に対応した教育活動の実践に資するため、各種の研修会の機会を充実させ、個々の教員の教育課題の解決を図るなど、多様な研修を設定します。

専門研修 について

専門研修 は、教科等の指導力の深化や専門的な研究のほか、全校的視野や経営的視点での学校教育の充実を図るための研修です。

特に、学校教育の指導的立場にあるものの力量の向上を図るものであり、研修成果の発表等を通して各学校の教育活動に資するよう配慮します。

(4) 特別研修

教員を大学及び大学院、文部科学省主催の研修、各種教育関係機関及び企業等の社会第一線の研究・開発等の機関、海外に派遣して行う研修です。

(5) 校内現職研修

教員研修の基盤として、各学校において計画的、実践的に行う研修です。

校内研修の実施にあたっては、各学校の教育目標を十分踏まえ、かつ、地域や児童生徒の実態等を考慮しつつ、組織的に計画、実施し、十分な評価を行うことが重要です。

校長をはじめとする教員は、校内研修が校内の課題の解決と教員個人の教育力を高める上で基盤となるものであることに留意し、その活性化のため一層努力をする必要があります。

(6) 研究

指定研究

県・各学校・地域の課題に応じ、研究テーマを設定し、総合的、先導的な実践・研究を深め、その成果を全県的に普及し、学校教育の充実・活性化に資するため、指定研究を行います。

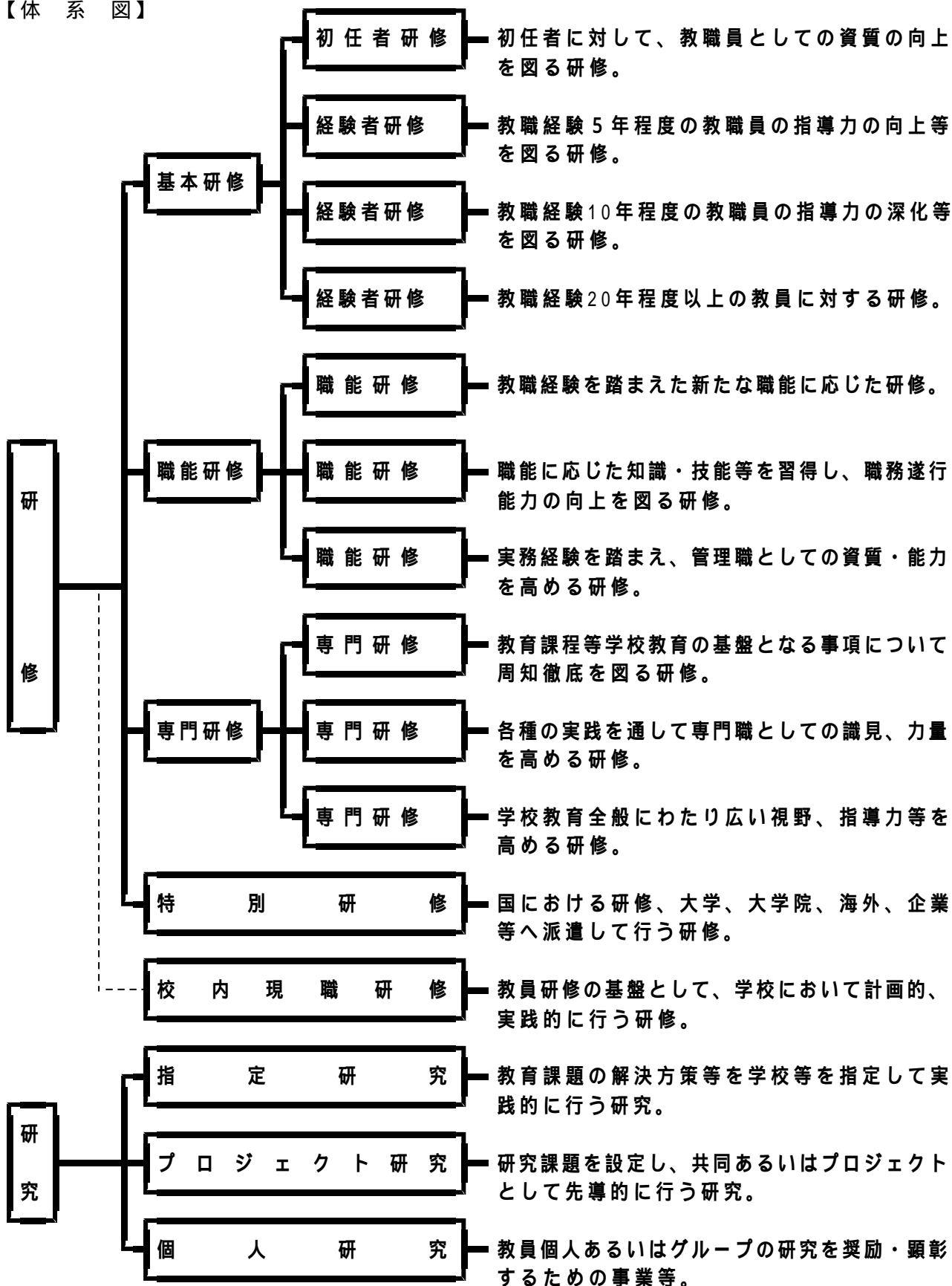
プロジェクト研究

社会の変化や時代の要請等に対応した教育課題の解決に実践的、研究的に取り組むため、教育センター等において、教育課題解決のための先導的研究等を行い、学校教育活動の充実・発展に資するため、プロジェクト研究を行います。

個人研究等

教員の個人あるいはグループの研究及び課題解決の努力や取り組みを奨励し、顕彰するため、教職員の研究論文の募集等を行い、実践的な教育研究を助長します。

【体 系 図】



4 市町村教育委員会が行う研修

県教育委員会は、社会の変化や時代の要請等に対応し、教育の質的水準をさらに高めるため、現職研修については、毎年度見直しを図り、各研修を組織的、体系的に実施しています。

市町村教育委員会においても、研修事業の見直し等により、研修の体系整備及び効果的推進を図るとともに、地域の実態を踏まえた研修の積極的な推進に努めます。

5 研 修 内 容

講 座 等			服 務 ・ 勤 務	教 職 員 の 倫 理	学 校 経 営 ・ 管 理	教 育 課 程	学 級 経 営	教 科 指 導	道 徳 教 育	特 別 活 動	生 徒 指 導 一 般	教 育 相 談			
												初 級	中 級	上 級	
分 類	所 管	講 座 等 の 名 称 ()内の数字はページ													
基 本 研 修	初 任 研 修 者	教育 幼稚園等新規採用教員研修 (16)													
		教育 小学校初任者研修 (16)													
		教育 中学校初任者研修 (16)													
		教育 高等学校初任者研修 (16)													
		教育 新規採用養護教諭研修 (17)													
		振興 新採用事務職員研修会 (28)													
		養護 盲・聾・養護学校初任者研修 (29)													
	入健 新規採用学校栄養職員研修 (33)														
	経 験 者 研 修	教育 幼稚園実技講習会 (17)													
		教育 小学校経験者研修 (17)													
		教育 中学校経験者研修 (17)													
		教育 高等学校経験者研修 (17)													
		教育 養護教諭経験者研修 (18)													
		養護 盲・聾・養護学校経験者研修 (29)													
		入健 学校栄養職員経験者研修 (33)													
	経 験 者 研 修	教育 保育技術協議会 (18)													
		教育 小学校経験者研修 (18)													
		教育 中学校経験者研修 (18)													
		教育 高等学校経験者研修 (18)													
		教育 養護教諭経験者研修 (19)													
		養護 盲・聾・養護学校経験者研修 (29)													
養護 市町村公立小・中・養護学校経験者研修 (19)															
職 能 研 修	教育 市町村公立小・中・養護学校新任校長研修会 (19)														
	教育 市町村公立小・中・養護学校新任教頭研修会 (19)														
	教育 市町村公立小・中・養護学校新任教務主任研修会 (20)														
	教育 幼稚園主任等運営協議会 (20)														
職 能 研 修	教 育 指 導	園長等運営管理協議会 (20)													
		市町村公立小・中・養護学校新任生徒指導担当教員研修会 (20)													
		中学校進路指導主事研修会 (20)													
		県立学校新任教務主任研修会 (20)													
		教育 県立学校新任教頭研修会 (28)													
		振興 県立学校新任校長研修会 (28)													
		養護 教務主任研修会 (30)													
	進路指導主事研修会 (30)														
	養護 研修主任研修会 (--)														
	本 年 度 は 実 施 し な い														

講 座 等		服 務 ・ 勤 務	教 職 員 の 倫 理	学 校 経 営 ・ 管 理	教 育 課 程	学 級 経 営	教 科 指 導	道 徳 教 育	特 別 活 動	生 徒 指 導 一 般	教 育 相 談				
											初 級	中 級	上 級		
分 類	所 管	講 座 等 の 名 称 () 内 の 数 字 は ペ ー ジ													
職 能 研 修	職 能 研 修	道徳教育連携・推進講座 (20)													
		八き地教育担当教員研修会 (20)													
		免許外教科担任教員研修会 (21)													
		教務主任研修会 (21)													
		生徒指導・特別活動担当者研修会 (21)													
		県立学校理科実習助手講座 (21)													
		新教科「情報」担当教員講習会 (21)													
		事務職員研修会 (28)													
		事務職員研修会 (28)													
		訪問教育担当教員講習会 (30)													
	養 護	障害児就学指導講習会 (30)													
		特殊教育新任担当教員研修会 (30)													
		軽度障害児指導法セミナー (30)													
		盲・聾・養護学校養護教諭研修会 (30)													
		盲・聾・養護学校実習助手研修会 (31)													
		新任学校給食主任研修会 (33)													
		学校栄養職員専門研修会 (33)													
	ス 水 健	健康教育指導者研修会 (33)													
		職研	市町村公立小・中・養護学校校長研修会 (21)												
	専 門 研 修	専 門 研 修	教育指導	小学校新教育課程説明会 (22)											
教育指導			中学校新教育課程説明会 (22)												
教育指導			高等学校新教育課程講習会 (22)												
養護			特殊教育新教育課程講習会 (31)												
専 門 研 修		専 門 研 修	教育指導	カウンセリング研修会 (22)											
			教育指導	情報化対応学校支援事業 (22)											
			教育指導	授業改善研修会 (22)											
			教育指導	東部地区学校体育実技指導者講習会県中央講習会 (22)											
			教育指導	学校体育実技指導者講習会 (23)											
			教育指導	女子体育実技(ダンス)指導者研究会 (23)											
			教育指導	学校体育実技(武道)認定講習会 (--)											
			教育指導	保健室相談相談活動研修会 (23)											
			教育指導	中・高教育方法実践講座 (36)											
セ ン タ ー	セ ン タ ー	教育	中学校・高等学校数学講座 (36)												
		教育	小・中特別活動実践講座 (36)												
		教育	小・中情報教育(パソコン入門) (36)												
		教育	小・中情報教育(ホームページデザイン) (36)												
		教育	小・中情報教育(マルチメディア活用) (36)												
		教育	小・中情報教育(表計算・データベース) (36)												
		教育	小・中情報教育(Visual Basic) (37)												
		教育	インターネット技術 (37)												
		教育	情報教育研修講座 (37)												
		教育	学校カウンセラー(中級)講座 (37)												
教育	学校カウンセラー(上級)講座 (37)														
教育	不登校研修講座 (37)														
教育	学校教育相談通信講座 (37)														

隔年のため実施しない

6 研修事業計画

(1) 基本研修

【教育指導課所管研修】

研修 分類	NO	研修会又は講座の名称 (校種)〔研修予定人数〕	場 期	所 日	研修 日数	目 的	内 容
初 任 者 研 修	1	幼稚園等新規採用教員研修 (幼) 〔150名〕	(園内における研修)		10日	公立私立幼稚園の新任教員に対し、教員としての基本的な心構え、幼稚園教育の基礎、指導計画の作成、指導方法等について研修を行い、その資質の向上を図る。	各幼稚園の計画による。 幼稚園教育の基礎と課題、幼稚園教育の内容と方法、指導計画の作成、日案の展開と指導方法、保育参観、実技、等
			(園外における研修)		10日		
			・教育指導課 ・各教育事務所の計画による。		(4日)		
			・宿泊研修 8/20-8/23		(2日)		
		・参観研修		(4日)			
		・各教育事務所		(4日)			
初 任 者 研 修	2	小学校初任者研修 (小) 〔49名〕	(校内における研修)		60日	新任教員に対し、現職教育の一環として、1年間の研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得させる。	各学校の計画による。 学校運営の仕組み、指導の重点・方針、生徒指導上の諸問題、学習指導の充実、へき地校研修、養護学校研修、研究発表会等研修、ボランティア活動研修、地場産業・公共施設等研修、他校園参観研修、カウンセリング研修、等
			(校外における研修)		30日		
			グループ研修A ・教育事務所の計画による研修 ・小・中学校初任者研 カウンセリング研修会等 グループ研修B ・市町村教育委員 会の計画による研修	(10日)	(14日)		
		宿泊研修 ・教育指導課の計 画による研修 (磐梯青年の家) 小・中 6/5-6/7		(3日)		教員の心構え、教員の服 務・勤務、学校教育上の諸 問題、学級経営の在り方、 野外活動の方法と実際、講 演、等 新採用教員に望むこと、 学校教育におけるコンピ ュータの利用、指導案の作成、 等	
		・教育センターの 計画による研修 (教育センター) 小 1/30-2/1 中 1/16-1/18		(3日)			
初 任 者 研 修	3	中学校初任者研修 (中) 〔32名〕					
初 任 者 研 修	4	高等学校初任者研修 (高) 〔56名〕	(校内における研修)		60日 程度	新任教員に対し、実践 的指導力と使命感を養う とともに、サービスと勤務、 教育課程、学習指導、生 徒指導、特別活動、進路 指導、情報教育、カウ ンセリング等について研修 を行い、幅広い知見を得 させる。	教員のサービスと勤務、学習 指導・生徒指導・進路指導 の原理と方法、教材研究の 方法と授業設計、情報処理 の演習、公開授業の実施と 授業研究、等 校務処理の方法、ホーム ルーム経営、学習指導及び 生徒指導の基礎的理論・技 術、ボランティア活動、勤 労体験、国際理解、企業研 究、カウンセリング等
			(校外における研修)		30日 程度		
			宿泊研修(教育センター) ・一次研修 6/11-6/13 ・二次研修 2/13-2/15		(3日) (3日)		
			教育センター等における研修 ・基本研修 4/3-4/4 ・教科別研修 1期 9/3-9/5 2期 9/17-9/19 3期 9/19-9/21 ・地区別研修 4月~12月		(2日) (3日) (19日)		

研修 分類	NO	研修会又は講座の名称 (校種)〔研修予定人数〕	場 期	所 日	研修 日数	目 的	内 容
初 任 者 研 修	5	新規採用養護教諭研修 (小・中・高・盲・聾・養) 〔5名〕	(校内における研修)		15日	小・中・高等学校及び 盲・聾・養護学校の新規 採用養護教諭に対し、専 門的知識・技能を高める とともに教員としての基 本的な内容について研修を 実施し、資質の向上を図る。	各学校の計画による
			(校外における研修) グループ研修A ・教育事務所の計 画による研修		14日 (7日)		共通研修(一般研修・カ ウンセリング研修・養護学 校研修) 専門研修(先輩校での研 修)
			グループ研修B ・市町村教育委員 会の計画による研 修		(1日)		共通研修(一般研修)
			宿泊研修 ・スポーツ健康課 及び教育指導課の 計画による研修 (磐梯青年の家) 6/5~6/7 (教育センター) 11/5~11/7		(3日) (3日)		共通研修(新規採用者に 期待されるもの、教職員の 服務と勤務、等) 専門研修(健康教育と保 健指導の実際、児童生徒の 疾病理解実践研修のまとめ
経 験 者 研 修	1	幼稚園実技講習会 (幼) 〔50名〕	・福島大学教育学 部附属幼稚園 7/31-8/3		4日	幼稚園教育要領に示さ れるねらいが達成できる よう実技研修を行い、指 導力の向上を図る。	指導内容についての講義、 指導計画の作成、実技、等
	2	小学校経験者研修 (小) 〔160名〕	(校内における研修)		12日 程度 (5日)	教職経験5年の教員に 対し、各教科、道徳、特 別活動の指導及び学級経 営の内容・方法等につい て研修を深めるとともに、 教職員の服務と勤務につ いて研修を行い、その資 質の向上を図る。	5年経験の教員に望むこ と、道徳教育の進め方、特 別活動の進め方、学年・学 級経営の進め方、児童・生 徒理解と、いじめ・不登校 問題対応、服務・勤務上の 諸問題、等
	3	中学校経験者研修 (中) 〔148名〕	(校外における研修) ・教育センター [全体研修1日、 コース研修2日] 小 1期10/17-10/19 2期10/24-10/26 中 1期9/5-9/7 2期10/3-10/5 3期10/9-10/11 ・各教育事務所 [全体研修2日] ・研修会等研修 [コース研修2日]		(3日) (2日) (2日)		
	4	高等学校経験者研修 (高) 〔142名〕	(校内における研修)		12日 程度 (5日)	教職経験5年程度の教 員の教科の専門的な知識 ・能力の深化を図るとと もに、生徒指導・教育相 談、いじめ指導、服務と 勤務等についても研修を 行い、教科担任としての 専門的な知見を深めると ともにホームルーム担任 としての力量の向上を図 る。特に、国数英につい ては、中高を通じた教科 の指導力を高めるため、 中高合同の教科研修の場 を設ける。	教員の服務と勤務、教科 指導の方法と授業の改善、 生徒指導、教育経営と研修、 いじめ等への対応及び進路 指導の研究、研究授業の実 施と授業研究、等
(校外における研修) ・教育センター [全体研修4日、コース研修1日] 前期1期 9/5-9/7 2期 10/3-10/5 3期 10/9-10/11 後期1期 12/3-12/4 2期 12/6-12/7 研修会等研修[コース研修2日]		(5日) (2日)					

研修種別	NO	研修会又は講座の名称 (校種)〔研修予定人数〕	場期 所日	研修 日数	目 的	内 容	
経験者研修	5	養護教諭経験者研修 (小・中・高・盲・聾・養) 〔20名〕	(校外における研修) ・教育事務所の計画による研修	5日 (2日)	経験年数5年の養護教諭に対し、より高度なる専門的知識・技能を高める研修及び今日的課題に対応するための研修を行い、資質の向上を図る。	児童生徒理解と教育相談、教育公務員としての勤務とサービス、等 5年経験教員としての心構え、生徒指導の進め方 先輩校での研修保健室経営の実際、保健指導の実際	
			宿泊研修 ・教育センター及びスポーツ健康課の計画による研修(教育センター) 11/12～11/14 ・いじめ研修 12/6～12/7 *県立学校養護教諭のみ	(3日)			保健学習・保健指導の考え方、進め方 学校における救急処置実践研究のまとめ方
				(2日)			いじめや体罰、生徒指導に関する研修等
経験者研修	1	保育技術協議会 (幼) 〔50名〕	・教育センター 7/25-7/27	3日	教職経験10年以上の教員を対象に、幼児一人一人の特性に応じ、発達の課題に即した保育を行うために必要な保育の専門技術についての研修を行い指導力を高める。	幼児理解を深めるための基本的姿勢、幼児の心の動きに添った援助、カウンセリングマインドを生かした相談等について講義・演習等	
	2	小学校経験者研修 (小) 〔325名〕	(校内における研修) (校外における研修) ・教育センター [全体研修3日、 コース研修2日]	12日 程度 (4日) (5日)	教職経験10年の教員に対し、各教科、道徳、特別活動の指導及び学年・学級経営、生徒指導、情報教育、社会貢献活動体験等について研修を行い、その資質の向上を図る。	10年経験の教員に望むこと、道徳教育の進め方、生徒指導の課題と対策、学年・学級経営の進め方、各種主任の任務と役割、情報教育、社会貢献活動研修等	
	3	中学校経験者研修 (中) 〔224名〕	(前期) 小 1期 6/18-20 2期 6/25-27 3期 7/2-4 中 1期 10/29-31 3期 11/19-21 2期 11/7-11/9 4期 11/28-30 (後期) 小 1期 10/11-10/12 4期 11/15-11/16 2期 10/22-10/23 5期 1/15-1/16 3期 11/1-11/2 中 1期 1/24-1/25 4期 2/12-2/13 2期 2/4-2/5 5期 2/21-2/22 3期 2/7-2/8 6期 2/25-2/26 ・各教育事務所 [全体研修1日] ・社会貢献活動体験研修 [2日]	(1日) (2日)	教職経験10年の教員の教科の専門的な知識・能力の深化を図るとともに、教科経営及び社会貢献活動体験研修を行い、教育活動全般にわたる広い視野に立った力量の向上を図る。特に、国数英については、中高を通じた教科の指導力を高めるため、中高合同の教科研修の場を設ける。	10年経験の教員に望むこと、生徒指導・教育相談の進め方、情報教育、中高一貫した教科教育教科指導(各教科)、社会貢献活動体験研修等	
	4	高等学校経験者研修 (高) 〔198名〕	(校内における研修) ・教育センター [全体研修3日、コース研修2日] 前期 1期 10/29-10/31 4期 11/20-11/30 2期 11/7-11/9 5期 12/10-12/12 3期 11/19-11/21 後期 1期 1/24-1/25 4期 2/12-2/13 2期 2/4-2/5 5期 2/21-2/22 3期 2/7-2/8 6期 2/25-2/26 ・研修会等研修 [コース研修2日] ・社会貢献活動体験研修	12日 程度 (3日) (5日) (2日) (2日)	教職経験10年程度の教員の教科の専門的な知識・能力の深化を図るとともに、ホームルーム活動、学年経営、生徒指導、教育相談、情報教育、サービスと勤務、社会貢献活動等について研修を行い、教育活動全般にわたる広い視野に立った力量の向上を図る。特に、国数英については、中高を通じた教科の指導力を高めるため、中高合同の教科研修の場を設ける。	教員のサービスと勤務、教科指導の方法と改善、生徒指導、教育相談及び進路指導の研究、情報教育、校務運営の研究、社会貢献活動体験、等	

研修分類	NO	研修会又は講座の名称 (校種)〔研修予定人数〕	場 期 所 日	研修 日数	目 的	内 容
経験者研修	5	養護教諭経験者研修 (小・中・高・盲・聾・養) 〔48名〕	(校外における研修) ・教育事務所の計画による	5日 (2日)	経験10年の養護教諭に対し、より高度な専門的知識・技術を高める研修及び今日的課題に対応するための研修を行い、資質の向上を図る。	10年経験の教員に望むこと、道徳教育の進め方、特別活動の進め方、生徒指導の課題と対策、情報教育 先輩校での研修、保健室経営の実際、学校保健組織活動 ヘルスプロモーションと養護教諭、健康教育と養護教諭、保健室の相談活動、学校保健委員会の活性化について
			宿泊研修(語センター) ・教育センター及びスポーツ健康課の計画による研修 10/1～10/3	(3日)		
経験者研修	1	市町村公立小・中・養護学校経験者研修 (小・中) 〔50名〕	・各教育事務所の計画による ・各学校の計画による	4日程度 (2日) (2日)	教職経験20年程度で教育事務所の推薦を受けた教員に対して各教科、道徳、特別活動及び学校経営、教育相談、情報教育等について研修を行い、リーダーとしての資質の向上を図る。	学校経営上の諸問題、学校運営行政実例、現職教育の視点と方法 学校教育の課題と学校経営の進め方
	2	高等学校経験者研修 (高) 〔65名程度〕	・教育センター 11/12～11/15	4日程度	県立高等学校の教務主任、学年主任等の中堅教員(学校運営上、主要な職にある者)に対し、学校管理運営上の諸問題について研修を行い、教員のリーダーとして全校的視野に立った指導力の深化を図る。	中堅教員としての心構え、教員の服務と勤務、教育課程の編成と実施、教科指導、生徒指導、教育相談、コンピュータの活用、学校管理演習、等
	3	養護教諭経験者研修 (小・中・校・盲・聾・養) 〔16名〕	宿泊研修 (教育センター) 1/16～1/18	3日	経験15年の養護教諭に対しより高度な専門的知識・技能を高める研修及び今日的課題に対応するための研修を行い、資質の向上を図る。	総合的な学習の時間と健康教育、実践研究の生かし方、心の健康問題への対応、伝達講習

(2) 職能研修

研修分類	NO	研修会又は講座の名称 (校種)〔研修予定人数〕	場 期 所 日	研修 日数	目 的	内 容
職能研修	1	市町村公立小・中・養護学校新任校長研修会 (小・中・養) 〔100名〕	・教育センター 5/28～5/30	3日	新任校長に対し、学校管理運営等の諸問題に関する研修を行い、管理職としての資質の向上を図る。	校長と学校経営、教育行政上の諸問題、学校経営上の諸問題、教職員の人事管理、教育課程の管理、生徒指導上の諸問題等
	2	市町村公立小・中・養護学校新任教頭研修会 (小・中・養) 〔100名〕	・教育センター 小・中 6/4～6/6	3日	新任教頭に対し、学校管理運営等の諸問題に関する研修を行い、管理職としての資質の向上を図る。	当面する教育行政上の諸問題、学校教育上の諸問題、学校管理上の諸問題、教育課程の編成と管理、生徒指導の現状と課題、等

研修分類	NO	研修会又は講座の名称 (校種)〔研修予定人数〕	場 期 所 日	研修 日数	目 的	内 容
職 能 研 修	3	市町村公立小・中・養護 学校新任教務主任研修会 (小・中・養) 〔250名〕	・各教育事務所の 計画による。	2日	新任教務主任に対し、 教育計画や学校運営に関 する研修を行い、その資 質の向上及び校務運営の 適正化を図る。	学校教育の現状と課題、 学校運営と教務主任の役割、 学校管理上の諸問題、教育 課程の編成と管理、教育課 程と生徒指導、校内研修、 等
	4	幼稚園主任等運営協議会 (主任等) 〔50名〕	・教育センター 7/9-7/11	3日	園長を補佐する立場に ある主任等を対象として 教育課程や指導計画、幼 稚園の管理運営に関する 研修を行い、資質の向上 を図る。	教育課程の編成や指導計 画、幼稚園管理上の諸問題、 幼稚園教育の現状と課題、 等
	5	園長等運営管理協議会 (園長等) 〔50名〕	・教育センター 7/9-7/11	3日	兼任園長や、幼稚園教 諭の経験がない園長等を 対象として、幼稚園教育 についての研修を行い、 指導の向上を図る。	幼稚園教育要領の基本的 な考え方 幼児の心身の発達の状況 とその捉え方 幼稚園教育の課題と園長 の役割、等
	6	市町村公立小・中・養護 学校新任生徒指導担当教 員研修会 (小・中・養) 〔220名〕	・教育センター 1期 4/25-4/26 2期 4/26-4/27	2日	新たに生徒指導を担当 することとなった教員 (生徒指導主事)を対象 とし、積極的な生徒指導 の機能が教育活動に十分 生かされるよう研修し、 担当教員の資質向上を図 るとともに、生徒指導の 課題解決に役立てる。	生徒指導の現状と課題、 積極的な生徒指導、校内指 導体制の確立 問題行動への対応、積極 的な生徒指導の推進、生き て働く生徒指導の機能はど うあるべきか等
	7	中学校進路指導主事研修 会 〔50名〕	・教育センター 9/3-4	2日	中学校の進路指導主事 を対象とし、生徒が自ら の生き方を考え、主体的 に進路を選択することが できる本来の進路指導の 在り方について研修し進 路指導改善を推進する。	進路指導主事として必要 な基本的事項と実践につい て 本県進路指導の現状と課 題について 中央研修講座の伝達
	8	県立学校新任教務主任研 修会 (高) 〔30名程度〕	(各地) 8/22-8/23	(新任 2日)	新任教務主任に対し、 学校管理運営上の諸問題 及び学習指導等に関する 研修を行い、その資質の 向上を図り、適正な校務 運営に資する。	学校の管理運営及び教育 課程編成上の諸問題、学習 指導及び生徒指導の方法、 適正な校務運営の在り方、 等
職 能 研 修	1	道徳教育連携・推進講座 (小・中・養) 〔380名〕	・各教育事務所の 計画による。	3日	教員に対し、道徳教育 の基本問題及び指導上の 諸問題について研修を行 い、実践的指導力の向上 を図り、学校における道 徳教育の一層の充実に資 する。	道徳教育の指導の重点、 道徳教育の指導計画、道徳 の時間の指導、資料の活用、 学校と家庭・地域社会との 連携、等
	2	へき地教育担当教員研修 会 (小) 〔70名〕	・教育センター 4/23-4/24	2日	複式学級担当教員に対 し複式学級学習指導計画、 学習指導法、教育機器活 用方法等の研修を行い、 指導力の向上を図る。	へき地教育における諸問 題、複式学級における指導 計画作成の方法、複式学級 における効果的な授業の進 め方に関する演習、等

研修分類	NO	研修会又は講座の名称 (校種)〔研修予定人数〕	場 期	所 日	研修 日数	目 的	内 容
職 能 研 修	3	免許外教科担任教員研修会 (中) 〔100名〕	・教育センター 第1期5/7-5/9 第2期5/9-5/11		3日	免許外の教科を担当する教員に対し、学習指導に関する研修を行い、指導力の向上を図るとともに、教育活動の充実に資する。	学習指導の改善、教科の目標・内容・指導上の留意点、指導上の諸問題解決のための研究協議、演習、実習、等
	4	教務主任研修会 (高) 〔101名〕	・教育センター 5/21-5/23		3日	教務主任(新任を含む)に対し、学校管理運営上の諸問題及び学習指導、生徒指導等に関する研修を行い、その資質の向上を図り、適正な校務運営に資する。	学校の管理運営及び教育課程編成上の諸問題、学習指導及び生徒指導の方法、適正な校務運営の在り方、等
	5	生徒指導・特別活動担当者研修会 (高・盲・聾・養) 〔112名〕 + 私立高校	・教育センター 5/30-6/1		3日	生徒指導担当者、特別活動担当者に対し、生徒指導や特別活動上の諸問題、生徒指導の在り方等の研修を行い、指導力の向上及び生徒指導の改善充実に資する。	生徒指導、特別活動の在り方及び指導上の諸問題、生徒理解と学校生活への適応指導の在り方、生徒の問題行動の現状と対策、人間としての在り方生き方の指導、等
	6	県立学校理科実習助手講座 (高) 〔20名〕	・教育センター 8/17-8/19		3日	県立学校の理科実習助手に対し、職務遂行上必要な知識・技術等について講習を行い、その資質の向上を図る。	物理、化学、生物、地学の観察・実験に関する教材の準備の方法や機器の基本操作、等
	7	新教科「情報」担当教員講習会 (高) 〔65名〕	・教育センター 7/23-8/10		15日	平成15年度から施行される新学習指導要領に基づく新教科「情報」担当教員の養成を図る。	教科教育法、コンピュータ概論、アルゴリズム、データベース、ネットワーク、マルチメディア、等
職 能 研 修	1	市町村公立小・中・養護学校校長研修会 (小・中・養) 〔100名〕	・教育センター 8/22-8/23		2日	校長経験満3年を経過した校長に対し、職務遂行に必要な研修を行い、学校経営の責任者としての資質、能力の向上を図る。	教育行政上の諸問題、学校経営上の諸問題、教育課程編成・実施・管理、等

(3) 専門研修

研修分類	NO	研修会又は講座の名称 (校種)〔研修予定人数〕	場 期	所 日	研修 日数	目 的	内 容
専 門 研 修	1	小学校新教育課程説明会 (小) 〔1,300名〕	・各教育事務所 県北 県中 県南 会津 南会津 相双 いわき		1日	教育課程実施上の諸問題に関する専門的研修を実施し、教員の指導力の向上と新学習指導要領の趣旨の徹底を図り、本県学校教育の充実・改善に資する。	教育課程一般、各教科、道徳、特別活動並びに総合的な学習の時間についての講義と研究協議
	2	中学校新教育課程説明会 (中) 〔700名〕	・各教育事務所 県北 県中 県南 会津 南会津 相双 いわき		1日	教育課程実施上の諸問題に関する専門的研修を実施し、教員の指導力の向上と新学習指導要領の趣旨の徹底を図り、本県学校教育の充実・改善に資する。	教育課程一般、各教科、道徳、特別活動並びに総合的な学習の時間についての講義と研究協議
	3	高等学校新教育課程講習会 (高・盲・聾・養) 〔1,200名程度〕	・県内4地区 県北 県中・県南 会津 いわき・相双		1日	平成10年度に告示された高等学校学習指導要領について、その趣旨の説明及び必要な研究協議を行うことにより趣旨の徹底を図り、平成15年度から円滑に施行できるようにする。	学習指導要領の改正に伴う趣旨の徹底を図ると共に教育課程実施に伴う諸問題について研究協議を行う。
専 門 研 修	1	カウンセリング研修会 (小・中) 〔500名〕	・各教育事務所 県北 県中 県南 会津 南会津 相双 いわき		3日	校内暴力・いじめ・不登校等の児童生徒の問題行動に対処するため、公立小・中学校の教員に対し、専門的なカウンセリングの技術及びいじめや不登校問題への対応について研修を行い、生徒指導の充実・強化を図る。	管内生徒指導上の現状と課題、学校教育相談の意義と役割、自己への気づき、発達期の心理、事例研究演習、相談面接演習、いじめ・不登校の現状と課題、教育相談の現状とその対応、自校の生徒指導への取組み、現代の児童生徒の心理とカウンセリング、等
	2	情報化対応学校支援事業 (小)〔250名〕 (中)〔150名〕	・各教育事務所の 計画による。		3日	県内小学校・中学校の全教員を対象として教育用ソフト活用、インターネットの活用等研修を行い、コンピュータで指導できる教員の増加を図る。	教材ソフトウェアの紹介と活用、インターネット体験、インターネットを活用した授業について、プレゼンテーション、授業の実際、研究協議、等
	3	授業改善研修会 (小・中) 〔100名〕	・教育センター 8/20-8/21		2日	T・Tに関わる教員に対し、T・Tについての研修を実施し、指導力の向上を図る。	学習指導の改善と学力向上、効果的なT・Tの在り方、T・T実施上の諸問題と対策、事例研究、等
	4	東部地区学校体育実技指導者講習会県中央講習会 (小・中・高) 〔80名〕	・福島市		1日	県内の小学校・中学校及び高等学校における体育指導者の資質の向上を図るとともに、各教育事務所管内で開催する学校体育実技指導者講習会の指導者を養成する。	小学校 中・高校 1 基本の運動 1 体つくり運動 2 体つくり運動 2 器械運動 3 器械運動 3 ハンドボール 4 ゲーム 4 射道 5 水泳 5 弓道 6 表現運動

研修分類	NO	研修会又は講座の名称 (校種)〔研修予定人数〕	場 期	所 日	研修 日数	目 的	内 容
専 門 研 修	5	学校体育実技指導者講習会 (小・中) 〔1,200名〕	・各教育事務所の 計画による。		1日 ～ 2日	体育担当教員に対し、 実技指導力を高める研修 を行い、体育指導の充実に 資する。	小学校 中学校 1 基本の運動 1 体づくり運動 2 体づくり運動 2 器械運動 3 器械運動 3 ハンドボール 4 ゲーム 4 雑遊 5 水泳 6 表現運動
	6	女子体育実技(ダンス)指 導者研究会 (幼・小・中・高・盲・聾 ・養) 〔130名〕	・福島市		2日	学習指導要領の趣旨に 沿ったダンスの実技指導 及び研究協議を行い、女 子体育指導者の資質の向 上を図る。	実技と協議 1 全体会 (実技、研究協議会) 2 分科会 (実技、研究協議会)
	7	保健室相談活動研修会 (小・中・高・盲・聾・養) 〔100名〕	・教育センター (宿泊研修) 12/12-12/14		3日	保健室相談活動の専門 的知識や技能を高め、 養護教諭の資質の向上を 図る。	講義と伝達講習 心身の発達と心の健康 グループワーク 事例研究
専 門 研 修	1	指導担当者研究協議会 (幼・小・中) 〔120名〕	・教育センター 4/19-20		2日	指導担当者に対し、専 門的指導力と識見を高め る研修を行い、その資質 の向上を図る。	学校管理運営上の諸問題、 生徒指導上の諸問題、教育 課程実施上の諸問題、指導 計画の改善、教科等の指導 上の諸問題等
	2	指導担当者研究協議会 (幼・小・中) 〔120名〕	・あづま荘 11/20-21		2日		
	3	学校教育指導委員研修会 (小・中・養) 〔380名〕	・各教育事務所の 計画による。		1日	学校教育指導委員に対 し教育課程実施上の諸問 題及び学習指導に関する 研修を行い、専門的指導 力と識見の向上を図る。	当面する教育行政上の諸 問題、学校教育上の諸問題、 教育課程実施上の諸問題、 指導計画の改善等

(4) 特別研修

研修分類	NO	研修会又は講座の名称 (校種)〔研修予定人数〕	場 期	所 日	研修 日数	目 的	内 容
特 別 研 修	1	公立義務教育諸学校教員 長期研修 (小・中) 〔13名〕	・筑波大学 4人 ・上越教育大学 2人 ・福島大学 7人		6ヶ月 2年 2年	学校教育に関する専門 的知識及び技能を習得さ せ、本県教育の推進に資 する教員を育成する。	主題研究(生徒指導、 特別活動、道徳教育)
	2	生徒指導総合研修講座 <中央講座> (小中各1・高1) 〔3名〕	・筑波大学		4週間	生徒指導の原理等に加 えていじめ・不登校の問 題に関する専門的、実践 的研修を行い、学校にお けるいじめ・不登校等へ の対応をより適切なもの とする。	文部科学省の計画による。
	3	生徒指導推進会議 <中央講座> (中・他) 〔5名〕	・国立オリンピッ ク記念青少年総合 センター等		2日	生徒指導問題に関する 理論及び実際について、 専門的、実践的研修を行 い、登校拒否の指導の中 核となる教員等の資質の 向上を図る	文部科学省の計画による。

研修 分類	NO	研修会又は講座の名称 (校種)〔研修予定人数〕	場 期 所 日	研修 日数	目 的	内 容
特	4	教職員等中央研修講座 (小・中・高) 校長・教頭 中堅教員 〔18名〕	・国立教育会館	3 <small>週間</small> 5 <small>週間</small>	校長、教頭、中堅教員等に対し、学校の管理運営、学習指導などの諸問題について、それぞれの職務に必要な研修を行い識見を高めるとともに指導力の向上を図る。	文部科学省の計画による。
	5	道徳教育連携・推進講座 ＜中央講座＞ (小・中) 校長・教頭 〔6名〕	・文部科学省の計画による。	6日	道徳教育実践上の課題について専門的な研修を行うことにより、道徳教育推進の指導者を養成し、学校における道徳教育の一層の充実を図る。	文部科学省の計画による。
	6	教員海外派遣 ＜短期派遣＞ (小・中・高・盲・聾・養) 〔50名〕	・海外 ＜福島県団＞ ＜東北ブロック団＞ ＜養護教諭団＞ ・文部科学省の計画による。	16日	教員に諸外国の教育、文化及び社会等の実情を視察させ、国際的視野に立った識見及び教職に対する誇りと自覚を高めさせる。	教育、文化及び社会の諸事情の視察 学校等教育関係機関訪問
別	7	教員海外派遣 ＜若手教員海外派遣＞ (小・中・高) 〔4名〕	・海外 ・文部科学省の計画による。	60日	若手教員を海外に派遣し国際的視野に立った識見及び教職に対する誇りと自覚を高めさせるとともに、国際化推進の中核となる教員の養成を図る。	教育活動への参加、家庭滞在、国公立の教育研究所・教員養成及び教員研修機関の訪問、教育文化施設・地域社会の視察、等
	8	日米国民交流 ＜若手教員の米国派遣＞ (小・中・高・盲・聾・養) 〔5名〕	・海外 ・文部科学省の計画による。	90日	若手教員を米国に派遣し、教育関係者、青少年等と交流を深め、両国間の相互理解を推進する。	教育活動への参加 日本の教育・文化等の紹介 学校等教育関係機関の訪問及び家庭滞在
研	9	英語担当教員海外研修 (中) 〔1名〕	・海外 ・文部科学省の計画による。	6 <small>ヵ月</small>	英語を担当する教員を米国等に派遣し、大学等での研修を通して指導力を高め、指導的立場に立つ英語教員を育成する。	語学研修所等での研修 大学における研修 個人研修 学校訪問
	10	環境教育担当教員講習会 (小・中・高) 〔3名〕	・文部科学省の計画による。 <small>小学校・中学校・高等学校</small>	4日	環境教育に関する指導内容、指導方法等に関する研修を行い、担当教員の指導力の向上を図る。	環境教育に関する講義と実習
	11	外国人子女等日本語指導講習会 (小・中) 〔1名〕	・未定	10日	小学校・中学校における外国人子女に対する日本語指導等に関する専門的な研修を行い、日本語指導等を担当する教員等の指導力の向上を図り、小学校及び中学校における外国人子女教育の一層の充実を図る。	日本語指導 ・日本語学 ・日本語指導法 ・カリキュラムガイドライン ・日本語力評価 異文化理解 ・相互啓発 ・カウンセリング

研修分類	NO	研修会又は講座の名称 (校種)〔研修予定人数〕	場期 所日	研修 日数	目 的	内 容
特 別	12	自然体験活動担当教員講習会 (小・中) 〔5名〕	・国立磐梯青年の家	4日	学校教育における自然体験活動の一層の充実を図るため自然体験活動の指導内容、実施上の配慮、施設の利用方法について研究協議・情報交換を行い自然体験活動担当担当教員の資質向上を図る。	講義 実習・演習 情報交換 事例発表・研究・協議
	13	全国環境学習フェア (小・中) 〔7名〕	・滋賀県	4日	地球的規模の環境の問題や都市、生活型公害など環境問題の解決に向けて幅広く環境教育・環境学習の普及充実を図るため、環境教育環境学習の在り方等について研究協議等を行い学校教育における環境教育の一層の充実に資する。	実践事例発表 シンポジウム 研究協議 事例発表
	14	学校図書館活用フォーラム (小・中) 〔38名〕	・未定	2日	学校図書館の活用や読書指導の促進方策について研究協議するとともに先進的な取組についての情報交換等を行い、学校図書館の活性化を図る。	講演 分科会 授業公開
	15	新産業技術等指導者養成講習 (中・高・養) 〔20名〕	・未定	8日 ~ 40日	産業技術の進歩や新学習指導要領に対応した新産業技術等の各分野について講習会を実施し、各都道府県における指導者の養成を行う。	文部科学省の計画による。
研 修	16	英語教育指導者講座 (中・高) 〔30名〕	・山形県青年の家	18日	英語担当指導主事及び指導的立場にある教員に対し英語指導上の専門的な講義・演習等の研修を行い、指導力を高めるとともに、英語教育の改善・充実を図る。	文部科学省の計画による。
	17	英語担当教員海外研修 <長期> (高) 〔1名〕	・ ・ ・	180日	英語教育を担当する若年中堅教員を新国及び、英国又は米国に派遣し、同国の語学研修所及び大学等で研修を行うことにより、本県における英語教員のリーダー育成を図る。	文部科学省の計画による。
	18	英語担当教員海外研修 <12か月> (高) 〔1名〕	・ ・	320日	英語教育を担当する若年中堅教員を英国又は米国に派遣し、同国の大学で英語教授法等の研修を行うことにより、英語教員のリーダーを育成し、本県英語教育の充実を図る。	文部科学省の計画による。

研修分類	NO	研修会又は講座の名称 (校種)〔研修予定人数〕	場 期	所 日	研修 日数	目 的	内 容
特 別 研 修	19	産業教育担当教員研修派遣 (高) 〔20名〕	・企業、研究所等		6日～ 10日	産業教育担当教員を事業所及び各種研究所・研修機関に派遣し、科学技術の進歩や産業界の進展等に対応できる知識・技術を習得、その資質の向上を図る。	事業所等の計画による。
	20	高等学校教員先端技術等研修 <ハイテック・プロジェクト> (高) 〔11名〕	・大学 ・大学院 ・試験研究所 ・企業等		3ヵ月 6ヵ月 1年	教員を大学、大学院、試験研究機関、企業等に長期間派遣し、科学技術の進歩や産業界の進展等に対応できる知識・技術を習得させ、その資質と実践的指導力の向上を図る。	先端技術に関する各分野に応じた研究テーマを設定し、それに基づいて専門的な研修を行う
	21	高等学校産業教育実習助手講習 (高) 〔2名〕	・大学		8日～ 10日	産業教育に関する教科・科目を担当する実習助手に対し、職務に必要な知識・技術に関する研修を行い、その資質の向上を図る。	文部科学省の計画による。
	22	高等学校家庭クラブ・農業クラブ指導者養成講座 (高) 〔4名〕	・国立オリンピック記念青少年総合センター (家) (農)		3日	家庭・農業クラブ連盟の顧問に対し、家庭・農業クラブ活動とその運営について必要な知識・技術を習得させ、指導者としての資質の向上を図り、家庭・農業クラブの充実に資する。	文部科学省の計画による。
	23	先端技術体験プログラム (高) 〔4名〕	・		4日 ～ 6日	専門高校の教員を対象とし、文部科学省所管の研究開発機関の協力を得て、先端の技術に触れさせる作業・実習を伴った研修を実施する。	文部科学省の計画による。
	24	進路指導講座 <中央講座> (中・高) 〔5名〕	・筑波大学		6日	進路指導担当教員に対し進路指導に必要な専門知識・技能を習得させ学校における進路指導の中核となる教員としての資質の向上を図る。	文部科学省の計画による。
研 修	25	教育情報化推進指導者養成研修 (小・中・高・養) 〔17名〕	・関係団体		10日	情報化に対応した研修を体系的に行う必要から、教育委員会等での研修の核となる人材の養成を図り、新教育課程の円滑な実施に備える。	文部科学省の計画による。
	26	養護教諭中央研修会 (小・中・高) 〔3名〕	・国立オリンピック記念青少年総合センター 12/10～12/14		5日	養護教諭の専門的知識及び技能を高め、学校保健の充実に資する。	文部科学省の計画による。

研修 分類	NO	研修会又は講座の名称 (校種)〔研修予定人数〕	場 期	所 日	研修 日数	目 的	内 容
特 別 研 修	27	保健室相談活動中央研修会 (小・中・高) 〔3名〕	・国立オリンピック 記念青少年総合 センター 7/3～7/6		4日	養護教諭を対象として、 保健室相談活動(ヘルス カウンセリングを含む) の研修を行い、資質の向 上を図る。	文部科学省の計画による。
	28	全国養護教諭研究大会 (小・中・高・養) 〔4名〕	・群馬県前橋市 7/26～7/27		2日	養護教諭の役割につい て研究協議を行い、学校 保健の充実に資する。	文部科学省の計画による。
	29	東部地区学校体育実技指 導者講習会 (小・中・高) 〔15名〕	・栃木県 5/22～5/25		4日	体育指導者の資質の向 上を図るとともに、都道 府県学校体育実技指導者 講習会における指導者の 養成を図る。	文部科学省の計画による。
	30	高等学校・高等専門学校 登山指導者研修会 (小・中・高) 〔1名〕	・富山県 8月		5日	登山の指導的立場にあ る者の参加を求め、主と して夏山登山に関する研 修を行い、指導者の資質 の向上を図る。	文部科学省の計画による。
	31	運動部活動運営研究協議 会 (中・高) 〔5名〕	・東京都 2月		2日	運動部活動の適切な運 営についての情報交換や 研究協議を行い、その改 善に資する。	文部科学省の計画による。

【研修講座数 及び 研修予定人員】

	基本研修				職能研修			専門研修			特別 研修	計
	小 学 校	中 学 校	高 等 学 校	高 等 専 門 学 校	初 級	中 級	上 級	専 門 研 修	専 門 研 修	専 門 研 修		
講座数	5	5	5	3	8	7	1	3	7	3	31	78
研修 予定 人員	292	520	845	131	850	848	100	3,200	2,510	620	305	10,221

(2) 職能研修

研修種別	NO	研修会又は講座の名称 (校種)〔研修予定人数〕	場 期	所 日	研修 日数	目 的	内 容
職 能 研 修	1	教務主任研修会 (盲・聾・養) 〔37名〕	・養護教育センター 10/1-10/2		2日	教務主任に対し、各校における教育計画の立案や学校運営に関する研修を行い、その資質向上及び校務運営の適正化を図る。	教育課程編成上の留意点、教育課程実施上の課題、学校運営と教務主任の役割、等
	2	進路指導主事研修会 (盲・聾・養) 〔19名〕	・養護教育センター 5/21		1日	進路指導主事に対し、各校での進路指導上の課題の改善や校内進路指導体制の充実について研修を行い、進路指導の充実を図る。	盲・聾・養護学校の現状と課題、進路指導の意義と指導計画、現場実習の進め方、等
職 能 研 修	1	訪問教育担当教員講習会 (養) 〔18名〕	・養護教育センター 8/21-8/23		3日	訪問教育担当教員に対し、家庭や病院、施設で行う教育について指導上の諸問題に関する研修を行い、指導内容・方法の改善、充実を図る。	重度・重複障害児の病理 重度・重複障害児のかかわりの視点、個別の指導計画の作成、授業の改善・充実、高等部における訪問教育の課題、等
	2	障害児就学指導講習会 (小・中 校長・教頭・教務主任・地教委) 〔各地区60名 計360名〕	・ 県北 5/22 ・ 県中 5/29 ・ 県南 6/5 ・ 会津・南会津 6/12 ・ 相双 6/19 ・ いわき 6/27		1日	各市町村、学校における障害児就学指導関係者に対し、障害児の就学について研修を行い、就学指導の適正化を図る。	養護教育における現状と課題、障害児の理解、就学相談の進め方、教育委員会として適正な就学指導を進めるための課題と工夫、就学指導を学校体制として進めるための課題と工夫、障害の判断及び就学指導の在り方、就学指導のための検査の活用、等
	3	特殊教育新任担当教員研修会 (小・中・盲・聾・養) 〔70名〕	・養護教育センター 6/5-6/7 ・校内における研修		5日 (3日) (2日)	小・中学校特殊学級担当教員、通級指導教室担当教員及び盲・聾・養護学校教員のうち、養護教育未経験者に対し、養護教育に関する基礎的事項について研修を行い、養護教育に携わる教員としての資質を高める。	養護教育の現状と課題、養護教育の実際、学習の原理を踏まえた望ましい指導の在り方、医学から見た養護教育の在り方、教材・教具の工夫と活用、等 各学校の計画による
	4	軽度障害児指導法セミナー (小・中) 〔193名〕	・ 県北 9/20 ・ 県中 9/11 ・ 県南 9/13 ・ 会津・南会津 9/6 ・ 相双 9/4 ・ いわき 9/5		1日	小・中学校の教員で、軽度の障害児を担当している教員を対象に、障害児及び障害等に関する基礎的な理解や援助の方法について研修・研究を進め、指導力の向上を図るとともに、盲・聾・養護学校とその教育についての理解と啓発を図る。	盲・聾・養護学校の授業参観、養護教育の考え方や指導方法、軽度障害児の理解と援助、等
	5	盲・聾・養護学校養護教諭研修会 (盲・聾・養) 〔28名〕	・養護教育センター 7/30		1日	盲・聾・養護学校の養護教諭を対象に、障害児の理解と適切な対応を行うため、専門的な知識、技能を高める研修を行い、その資質の向上を図る。	児童生徒の障害の多様化に対応した指導の在り方、校内における医療的ケアの在り方、障害児の健康教育、性教育、等

研修分類	NO	研修会又は講座の名称 (校種)〔研修予定人数〕	場期 所日	研修日数	目 的	内 容
職能研修	6	盲・聾養護学校実習助手 研修会 (盲・聾・養) 〔30名〕	養護教育センター 7/9	1日	盲・聾・養護学校の実 習助手に対し、養護教育 における諸課題、実習助 手の役割に関する研修を 行い、その資質の向上を 図る。	養護教育における諸課題 と実習助手の役割、職務遂 行上の配慮事項と課題、等
職能研修	1	県立盲・聾・養護学校教 頭研修会 (盲・聾・養) 〔27名〕	養護教育センター 7/31~1/1	2日	盲・聾・養護学校の教 頭に対し、学校運営、学 校の実態や児童生徒の障 害の状態に応じた教育活 動等の諸課題に関する研 修を行い、管理職として の資質の向上を図る。	教頭のリーダーシップ、 盲・聾・養護学校の教頭に 期待すること、盲・聾・養 護学校の教育課程と学習指 導、自校の教育課題の理解 に向けた教頭の取り組み、 等

(3) 専門研修

研修分類	NO	研修会又は講座の名称 (校種)〔研修予定人数〕	場期 所日	研修日数	目 的	内 容
専門研修	1	特殊教育新教育課程講習 会 (小・中・盲・聾・養) 〔488名〕	・県内4地区 県北 8/7 県中・県南 8/8 会津・南会津 8/8 磐前・川わき 8/9	1日	平成10年度に告示さ れた盲・聾・養護学校学 習指導要領について、そ の趣旨及び内容の説明等 を行うことによって趣旨 の徹底と新教育課程の円 滑な実施を図る。	学習指導要領の趣旨及び 内容の説明、教育課程実施 上の諸問題についての研究 協議、等

(4) 特別研修

研修分類	NO	研修会又は講座の名称 (校種)〔研修予定人数〕	場期 所日	研修日数	目 的	内 容
特 別 研 修	1	特殊教育内地留学 (小) 〔1名〕	・宮城教育大学	1年	養護教育の指導的立場 に立つ教員に対し、専門 的知識及び技術を習得さ せ、その資質の向上と指 導力の充実を図る。	養護教育に関する主題研 究。
	2	国立特殊教育総合研究所 専門研修 (小・中・盲・聾・養) 〔9名〕	・国立特殊教育総合研究所	3ヵ月 又は 1年	養護教育を担当する教 員に対し、専門的知識及 び技術を習得させ、その 資質及び指導力の向上を 図る。	長期研修 (1)重複障害教育、等 短期研修 (1)知的障害教育 (2)重度・重複障害教育 (3)教育工学 (4)病弱教育 (5)視覚障害教育
	3	新任特殊教育諸学校等 校長教頭講習会 (盲・聾・養) 〔2名〕	・国立特殊教育総合研究所	5日	新任校長・教頭に対し、 特殊教育について必要な 研修を行い、資質の向上 を図る。	文部科学省の計画による。
	4	特殊教育諸学校寮母講習 会 (盲・聾・養) 〔3名〕	・東京都	3日	盲学校、聾学校及び養 護学校の寄宿舎において 幼児、児童及び生徒の指 導に当たる寮母の資質の 向上を図る。	文部科学省の計画による。

研修種別	NO	研修会又は講座の名称 (校種)〔研修予定人数〕	場期	所日	研修数 日数	目的	内容
特別	5	特殊教育センター等教育 相談職員講習会 (養護教育センター等) 〔1名〕	・国立特殊教育総合研究所		10日	養護教育センター等 におもい教養を のる育を のる育を のる育を	文部科学省の計画による。
	6	障害児就学指導研究協議 会 (盲・聾・養) 〔2名〕	・東京都		2日	障害児の就学指導 の資	文部科学省の計画による。
	7	「通級による指導」指導 者講習会 〔2名〕	・国立特殊教育総合研究所		10日	「通級による指導」 の各よな の各よな	文部科学省の計画による。
	8	盲学校理療科担当教員講 習会 (盲) 〔2名〕	・東京都		5日	盲学校高等部療科 員に技術教員 の技術教員	文部科学省の計画による。
	9	聴覚障害教育担当教員講 習会 (聾) 〔2名〕	・千葉県		4日	聾学校高等部療科 員に技術教員 の技術教員	文部科学省の計画による。
	10	学習障害児等指導者講習 会 〔2名〕	・国立特殊教育総合研究所		5日	学習障害児等指導者 の指導者	文部科学省の計画による。
研修	11	交流教育地域推進指導者 講習会 〔3名〕	・国立特殊教育総合研究所		1日	養護教育センター等 におもい教養を のる育を のる育を	文部科学省の計画による。

【研修講座数 及び 研修予定人員】

	基本研修				職能研修			専門研修			特別 研修	計
	養護教育センター等	盲学校	聾学校	養護教育センター等	盲学校	聾学校	養護教育センター等	盲学校	聾学校			
講座数	1	1	1	1	2	6	1	1	0	0	11	25
研修予定員	34	50	48	13	56	699	27	488	0	0	29	1,444

6 研修事業計画

(1) 基本研修

【スポーツ健康課所管研修】

研修 分類	NO	研修会又は講座の名称 (校種)〔研修予定人数〕	場 期	所 日	研修 日数	目 的	内 容	
初 任 者 研 修	1	新規採用学校栄養職員研修 (小・中・高・盲・聾・養) 〔2名〕	(学校等内研修)		15日	新規採用の学校栄養職員に対し、専門的知識・技能を高めるとともに実践的指導力を養う研修を実施し資質の向上を図る。	各学校等の計画による指導の重点・方針、生徒指導上の諸問題、養護学校研修、他校園参観研修、地場産業等研修、給食管理業務、給食指導業務、食事環境の整備・工夫、個別指導の実際、学校・家庭・地域との連携、衛生管理体制の在り方	
			(学校等外研修) グループ研修A ・教育事務所の計画による研修 グループ研修B ・市町村教育委員会の計画による研修		13日 (4日)			(3日)
			宿泊研修 ・スポーツ健康課及び義務教育課の計画による研修 (磐梯青年の家) 6/5-6/7 (教育センター) 7/8-7/11		(3日)			(3日)
経験者研修	1	学校栄養職員経験者研修 〔11名〕	(校外における研修) ・教育事務所の計画による		5日 (2日)	経験5年の学校栄養職員に対し、より高度な専門的知識・技術を高める研修を行い、教育的指導力及び資質の向上を図る。	5年経験教職員としての心構え、道徳教育の進め方特別活動の進め方、衛生教育の実際、個に応じた給食指導の在り方、等	
			宿泊研修(教育センター) ・教育センター及びスポーツ健康課の計画による研修 10/24-10/26		(3日)			学校給食の現状と課題、学校給食の衛生管理、安全衛生管理、食中毒の防止について、等

(2) 職能研修

研修 分類	NO	研修会又は講座の名称 (校種)〔研修予定人数〕	場 期	所 日	研修 日数	目 的	内 容
職 能 研 修	1	新任学校給食主任研修会 (小・中・高・盲・聾・養) 〔200名〕	・福島市 ・須賀川市 ・会津若松市 ・いわき市		1日	新任給食主任に対し、学校給食に関する運営・指導及び栄養・衛生管理等の研修を行い、学校給食の充実を図る。	学校給食の現状と課題、学校給食の運営管理及び指導、学校給食の栄養と衛生、学校給食用物資、等
	2	学校栄養職員専門研修会 (小・中・高・養) 〔23名〕	・教育センター 12/10~12		3日	学校栄養職員に対し、専門的知識・技能等を高める研修を行い、その資質の向上を図る。	感染症について、食品の最新情報、肥満防止の運動指導、学校歯科保健における摂食の問題、等
	3	健康教育指導者研修会 (小・中・高・盲・聾・養) 〔1,200名〕	・県北・会津 ・県南・南会津 ・いわき・相双 ・県中		1日	保健主事に対し、保健安全に関する研修を行い学校における健康教育の改善充実に資する。	学校保健委員会の活性化交通安全教育、エイズ教育薬物乱用防止教育等、健康教育全般の充実。

(3) 特別研修

研修 分類	NO	研修会又は講座の名称 (校種)〔研修予定人数〕	場 期	所 日	研修 日数	目 的	内 容
特 別 研 修	1	学校栄養職員等研修会 (小・中) 〔2名〕	・国立オリンピック 記念青少年総合 センター 7/10-7/13		4日	学校栄養職員に対し、 専門的知識を深め、指導 力を高める研修を行い、 学校給食の普及・充実に 資する。	文部科学省の計画による。
	2	全国高等学校給食研究協 議会 〔2名〕	・愛知県名古屋市		2日	生徒の豊かな人間性を 育む、望ましい学校給食 の在り方について研究協 議し、充実向上を図る。	全体会(講演)及び分科 会
	3	全国学校給食研究協議大 会 (小・中・高・養) 〔7名〕	・愛知県名古屋市 10/25-10/26		2日	学校給食指導と管理・ 運営の改善充実のための 研究協議を行い、学校給 食の充実に資する。	全体会(講演)及び分科 会
	4	全国学校栄養職員研究大 会 (小・中・高) 〔5名〕	・松江市 7/25-7/26		2日	学校給食の意義・役割 について理解を深め、資 質の向上を図るとともに 学校給食の充実に資する。	全体会(講演)及び分科 会
	5	食に関する指導シンポジ ウム (小・中・高・養) 〔2名〕	・未定		1日	新しい学習指導要領に おける食に関する指導の 在り方について、関係者 の理解を深め、指導の一 層の充実に資する。	文部科学省の計画による。
	6	学校調理師研究大会 (高) 〔2名〕	・東京都 虎ノ門ホール 8/9~8/10		2日	給食調理従業員の資質 の向上を図るとともに、 その役割について認識を 深める。	文部科学省の計画による。
	7	全国健康教育研究協議会 (小・中・高) 〔6名〕 (保健安全 4名) (給食 2名)	・国立オリンピック 記念青少年総合 センター 8/27~8/29		3日	健康教育の今日的課題 や当面する諸問題につい て研修及び研究協議を行 い、健康教育の推進に資 する。	文部科学省の計画による。
	8	学校環境衛生・業事衛生 研究協議会 (小・中・高) 〔2名〕	・山梨県甲府市 9/20~9/21		2日	学校保健関係者に対し 学校環境衛生の向上に関 する研修及び研究協議を 行い、その指導力の向上 を図る。	文部科学省の計画による。
	9	健康教育指導者中央研修 会 (小・中・高) 〔5名〕 (保健安全 3名) (給食 2名)	・国立オリンピック 記念青少年総合 センター 10/17~10/19		3日	健康教育に関する専門 的研修を行いその指導力 の向上を図る。	文部科学省の計画による。
	10	学校安全教育指導者中央 研修会 (小・中・高) 第1回(13名) 第2回(13名)	・国立オリンピック 記念青少年総合 センター 5/29~6/1 1/29~1/31		5日	安全教育に関する研修 を行い、学校における交 通安全教育の充実に資す る。	文部科学省の計画による。

研修 分類	NO	研修会又は講座の名称 (校種)〔研修予定人数〕	場 期	所 日	研 修 日 数	目 的	内 容
特 別 研 修	11	全国学校歯科保健研究大会 (小) 〔1名〕	・大阪市 11/15～11/16		2日	歯・口の健康づくり推進指定校の発表や学校歯科保健に関する研究協議を行い、歯科保健関係者の資質の向上を図る。	文部科学省の計画による。
	12	東北学校保健大会 (小・中・高) 〔2名〕	・岩手県 8/7～8/8		2日	学校保健・学校安全に関する東北各県の実況について研究協議を行い、学校保健・学校安全関係者の資質の向上を図る。	全体会(講演・シンポジウム等)及び分科会
	13	全国学校保健研究大会 (小・中・高) 〔3名〕	・千葉市 11/8～11/9		2日	児童・生徒の健康安全に関する諸問題について研究協議を行い学校保健・学校安全関係者の資質の向上を図る。	文部科学省の計画による。
	14	エイズ・薬物乱用防止中央研修会 エイズ (小・中)〔2名〕 薬物乱用防止 (小・中・高)〔3名〕	・虎ノ門ホール 6/21 6/20		2日	学校教育におけるエイズ教育の充実を図るため学校の教員を対象にエイズ教育について理解を深める。	文部科学省の計画による。
	15	世界エイズデーシンポジウム (高) 〔1名〕	・国立オリンピック記念青少年総合センター 11/30		1日	世界エイズデーの趣旨を踏まえて、教育関係者を対象にエイズに関する正しい知識の普及を図るとともにエイズ教育の推進について理解を深める。	文部科学省の計画による。
	16	薬物乱用防止教育シンポジウム (小・中・高) 〔3名〕	・イイノホール 6/28又は6/29		1日	専門家の考えや先進地の取り組みから薬物乱用防止教育の在り方について理解を深める。	文部科学省の計画による。

【研修講座数 及び 研修予定人員】

	基本研修				職能研修			専門研修			特別 研修	計
	小	中	高	計	小	中	高	計	小	中		
講座数	1	1	0	0	0	3	0	0	0	0	16	21
研修予定員	2	11	0	0	0	1,423	0	0	0	0	54	1,490

6 研修事業計画

(3) 専門研修

【教育センター所管研修】

研修 分類	研修会又は講座の名称 (校種)〔研修予定人数〕	場 期	所 日	研修 日数	目 的	内 容
専 門 研 修	1 中・高教育方法実践講座 (中・高・盲・聾・養) 〔28名〕	・教育センター	10/24～10/26	3日	授業改善のための授業設計および授業評価の理論と方法についての研修を行い、教員としての指導力を高める。	授業評価の考え方と授業ビデオを用いた授業評価の実際、コンピュータを活用した授業の在り方、及び授業設計の実際、等
	2 中学校・高等学校数学講座 (中・高) 〔32名〕	・教育センター	9/19～9/21	3日	数学科担当の中堅教員に対し、数学教育や学習指導についての研修を行い、その識見と指導力を高める。	数学教育の課題、学習指導法の工夫、教材の研究・開発、中高連携、等
	3 小・中特別活動実践講座 (小・中・盲・聾・養) 〔50名〕	・教育センター (1班) 9/12～9/14 (2班) 10/1～10/3	9/12～9/14 10/1～10/3	3日 (2 編)	特別活動の学習理論及び効果的な指導法について研修を行い、その指導力を高める。	特別活動指導上の諸問題、特別活動の指導法の改善、児童会・生徒会・クラブ活動充実の視点、生きる力を育む特別活動の指導の在り方、等
	4 小・中情報教育 (パソコン入門) (小・中・盲・聾・養) 〔40名〕	・教育センター	7/11～7/13	3日	各種アプリケーションソフトを幅広く体験し、パソコンに慣れ親しむ研修を通して、情報活用能力を高める。	アプリケーション活用体験による情報活用能力の育成、Windowsの基本操作、一太郎とペイントによる学級通信作成、PowerPoint体験、Excel体験、インターネット体験、等
	5 小・中情報教育 (ホームページデザイン) (小・中・盲・聾・養) 〔40名〕	・教育センター	1/28～1/31	4日	インターネット、Webページ作成に関する研修を行い、その技術と指導力を高める。	HTMLによるWebページ作成の基礎、FrontPageとJavaScriptを使ったWebページの作成、PhotoShopによる素材作成、インターネットのルールとマナー(ネチケット)、等
	6 小・中情報教育 (マルチメディア活用) (小・中・盲・聾・養) 〔40名〕	・教育センター	9/19～9/21	3日	コンピュータによるマルチメディア活用に関する研修を行い、その指導力を高める。	マルチメディア素材作成演習(PhotoShop等による写真画像編集、サウンドレコーダによる音声処理、映像処理)、Power Point等による教材作成演習、情報処理及び活用能力の育成、等
	7 小・中情報教育 (表計算・データベース) (小・中・盲・聾・養) 〔40名〕	・教育センター	6/13～6/15	3日	校務処理におけるコンピュータ活用に関する研修を行い、その指導力を高める。	【Excel】-入 表計算ソフトによる成績処理等の校務処理を中心とした例題演習、基本操作からマクロ処理、情報活用能力の育成、等 【Access】-入 データベースソフトによる名簿管理等の校務処理を中心とした例題演習、基本操作からマクロ処理、情報活用能力の育成、等

研修分類	研修会又は講座の名称 (校種)〔研修予定人数〕	場 期	所 日	研修 日数	目 的	内 容
専 門 研 修	8 小・中情報教育 (Visual Basic) (小・中・盲・聾・養) 〔40名〕	・教育センター 9/10～9/13		4日	コンピュータによるプログラミング演習を通し、情報処理に関する研修を行い、その指導力を高める。	VisualBasicの概要、基本文法とプログラミング演習、図形・写真・音・映像のコントロール、オリジナル教材ソフトの作成、情報活用能力の育成、等
	9 小・中情報教育 (インターネット技術) (小・中・盲・聾・養) 〔60名〕	・教育センター (1期)11/26～11/29 (2期)1/21～1/24		4日 (2期 編成)	インターネット技術に関する研修を行い、ネットワーク管理者としての技術と指導力を高める。	UNIXの基礎、Webページ構成ファイルのアップロードと編集、CGI(Perl・C)による教育用ネットワークサービスの開発、WindowsNTのASPと、Accessによるデータベース作成、Linuxによるインターネットサーバの構築、等
	10 情報教育研修講座 (小・中・高・盲・聾・養) 〔21名〕	・教育センター 前期 6/20～6/22 中期 9/17～9/19 後期 11/5～11/7		9日 (3期 3期)	情報教育に関する中級講座等の修了者に対し、実際に学校教育の中で活用できるソフトウェア等の開発を行い、その識見と指導力を高める。	コンピュータの操作法、教材作成の演習、自主研究を中心としたソフトウェア開発と指導法、情報活用能力の育成、等
	11 学校カウンセラー(中級)講座 (小・中・高・盲・聾・養) 〔112名〕	・教育センター (1期) 前期 6/20～6/22 後期 11/5～11/7 (2期) 前期 6/27～6/29 後期11/26～11/28		6日 (3期 2期) (2期 編成)	学校カウンセラー(初級)講座、東北地区カウンセリング技術指導者講座、昭和59年度以前の小・中・高等学校教育相談講座、平成元年度以降の県教委主催のカウンセリング研修会の修了者に対し、教育相談の理論と技術について実践的な研修を行い、その指導力を高める。	教育相談の考え方と方法、生徒指導と学校教育相談、発達期の心理と問題行動、グループ・エンカウンター、相談面接演習(2)(3)、心理検査、教育相談の進め方、事例研究演習(2)、事例研究実践、等
	12 学校カウンセラー(上級)講座 (小・中・高・盲・聾・養) 〔26名〕	・教育センター 前期 6/6～6/8 中期 8/29～8/31 後期 1/28～1/30		9日 (3期 3期)	学校カウンセラー(中級)講座、昭和59年度以前の小・高教育相談講座の修了者に対し、教育相談の実施運営及び学級担任等への指導助言上必要とされる理論と技術について実践的な研修を行い、その指導力を高める。	学校教育相談への期待、学校教育相談活動の在り方、学校教育相談活動の現状と課題、行動療法、家族カウンセリング、勇気付けのカウンセリング、相談面接演習(4)、相談面接演習実践心理検査、事例研究演習(3)、事例研究実践、等
	13 不登校研修講座 (小・中・高・盲・聾・養) 〔70名〕	・教育センター 5/23～5/25		3日	不登校についての基本的な考え方とその指導援助の在り方などの研修を行い、不登校に対しての指導力を高める。	不登校の現状と課題、不登校の原因と背景、不登校問題への対応、不登校児童生徒への指導援助の在り方、不登校児童生徒への具体的な指導援助、等
	14 学校教育相談運営講座 (小・中・高・盲・聾・養) 〔30名〕	・教育センター 7/30～8/1		3日	校長を対象に、学校における生徒指導上の諸問題や教育相談の在り方等について研修を行い、自校の学校教育相談の運営改善に役立てる。	学校経営と生徒指導、学校教育相談における校長の役割、学校不適応問題への対応、学校における精神保健活動、学校教育相談の現状と課題、等

研修 分類	研修会又は講座の名称 (校種)〔研修予定人数〕	場 期	所 日	研修 日数	目 的	内 容
専 門 研 修	15 国際理解教育講座 (小・中・高・盲・聾・養) 〔37名〕	・教育センター 9/19～9/21		3日	国際化時代を迎え、国際性豊かな児童・生徒を育成するため、国際理解教育に関する識見と指導力を高める。	国際理解教育の目指すもの、国際理解教育の進め方及び授業、我が校の国際理解教育の取り組み、等
	16 環境教育講座 (小・中・高・盲・聾・養) 〔37名〕	・教育センター 7/4～7/6		3日	地域の自然事象及び社会事象を素材として環境教育について研修を行い、環境教育に関する識見と指導力を高める。	環境教育の在り方、自然環境や社会環境の観察・調査の方法、環境教育の進め方と実践、等
	17 小学校教育方法実践講座 (小・盲・聾・養) 〔28名〕	・教育センター 6/27～6/29		3日	授業改善のための授業設計および授業評価の理論と方法についての研修を行い、教員としての指導力を高める。	授業評価の考え方と授業ビデオを用いた授業評価の実際、コンピュータを活用した授業の在り方、及び授業設計の実際、等
	18 小学校道徳教育実践講座 (小・盲・聾・養) 〔60名〕	・教育センター (1期)10/15～10/17 (2期)10/31～11/2		3日 (2期 兼前)	道徳の学習理論及び効果的な指導法について研修を行い、道徳教育に関する指導力を高める。	道徳の時間の指導上の諸問題、道徳的実践力を高める道徳の時間の指導の工夫、道徳教育の特質と指導の在り方、これから目指す道徳教育の在り方、等
	19 小学校地区別理科現地講座 (小・盲・聾・養) 〔100名〕	・各地区 北 5/19～5/10 中 5/23～5/24 南 5/30～5/31 北 6/16～6/17 南 5/15～5/16		2日	学校周辺の自然の観察を主にした指導法について研修を行い、理科の指導力を高める。	学校周辺の植物や土地の観察と指導法、身近な素材を用いた教材の製作や実験と指導法、等
	20 中学校道徳教育実践講座 (中・盲・聾・養) 〔30名〕	・教育センター 11/14～11/16		3日	道徳の学習理論及び効果的な指導法について研修を行い、道徳教育に関する指導力を高める。	道徳の時間の指導上の諸問題、道徳的実践力を高める道徳の時間の指導の工夫、人間形成と道徳教育、これから目指す道徳教育の在り方、等
	21 中学校オーラル・コミュニケーション講座 (中・盲・聾・養) 〔24名〕	・教育センター 6/6～6/8		3日	英語科担当教員及び英語指導助手に対し、英語でのコミュニケーションに関する研修を行い、その識見と指導力を高める。	英会話、英語教育、チーム・ティーチング、文化理解、英語演習、等
	22 中学校理科講座 (中・盲・聾・養) 〔20名〕	・教育センター 6/27～6/29		3日	理科に関する観察・実験及び指導法について研修を行い、その識見と指導力を高める。	第1分野・第2分野に関する観察・実験、教材の製作、野外観察とその指導法、等
23 中学校技術講座 (中・盲・聾・養) 〔20名〕	・教育センター 前期6/13～6/15 後期11/7～11/9		6日 (3日 2日)	技術分野を担当する教員に対し、「技術とものづくり」、「情報とコンピュータ」に関する実習及び指導法について研修を行い、その識見と指導力を高める。	ものづくりやソフトウェアの利用及びホームページの作成に関する実習、授業設計と実施上の課題研究、教材・教具の開発と作成、等	
24 高等学校芸術科(音楽)実技講座 (高・盲・聾・養) 〔10名〕	・教育センター 11/14～11/16		3日	音楽教育における各領域の専門的な内容について理解を深めるとともに音楽作品の表現方法について実技を通して研修を行い、その識見と指導力を高める。	実技指導の基礎理論、演奏法についての実習、教材研究、等	

研修分類	研修会又は講座の名称 (校種)〔研修予定人数〕	場 期	所 日	研修 日数	目 的	内 容
専 門	25 高等学校芸術科(美術・ 工芸)実技講座 (高・盲・聾・養) 〔8名〕	・教育センター 9/3～9/5		3日	美術・工芸の各領域の 専門的な内容について理 解を深め、表現力を高め るとともに、今日的表現 技法や材料の扱いについ て実技を行い、その識見 と指導力を高める。	材料・技法の基礎理論、 作品の制作、基本実習、教 材研究、等
	26 高等学校オーラル・コミ ュニケーション講座 (高・盲・聾・養) 〔24名〕	・教育センター 10/1～10/3		3日	英語科担当教員及び英 語指導助手に対し、英語 でのコミュニケーション に関する研修を行い、そ の識見と指導力を高める。	英語教育、チーム・テイ ーキング、文化理解、英語 演習、等
	27 高等学校理科(物理・化 学・生物・地学)講座 (高・盲・聾・養) 〔24名〕	・教育センター 10/15～10/17		3日	物理、化学、生物、地 学に関する観察・実験及 び指導法について各科目 別に研修を行い、その識 見と指導力を高める。	観察・実験、実習、野外 観察(生物・地学)とその 指導法、等
	28 高等学校家庭科実技講座 (高・盲・聾・養) 〔10名〕	・教育センター 12/3～12/5		3日	家庭科教育に関する専 門的な知識や技術、今日 的な実験・実習及び指導 法について研修を行い、 その識見と指導力を高め る。	各領域及び消費者教育、 福祉教育、環境教育、情報 教育などの視点からの題材 研究とその指導法、新しい 家庭科教育の実践と課題、 等
研	29 高等学校理科実習助手実 技講座 (高・盲・聾・養) 〔10名〕	・教育センター 9/17～9/19		3日	物理、化学、生物、地 学に関する観察・実験、 実習や機器の操作法など の研修を行い、資質の向 上を図る。	観察・実験に関する教材 の準備の方法や機器の基本 操作、等
	高 校 情 報 教 育 講 座	30 ホームページデザイン (高・盲・聾・養) 〔20名〕	・教育センター 7/2～7/5	4日	実習助手、技能員を含 む教員に対し、インター ネット、Web ページ作成 に関する研修を行い、そ の技術と指導力を高める。	HTMLによるWebページ 作成の基礎、PhotoShopに よる素材作成、FrontPage とJavaScriptを使ったWeb ページの作成、インターネ ットのルールとマナー(ネ チケット)、等
プログラミング言語 (高・盲・聾・養) 〔25名〕		・教育センター 10/15～10/18	4日	実習助手、技能員を含 む教員に対し、コンピュ ータによるプログラミング 演習を通し、情報処理 に関する研修を行い、そ の指導力を高める。	[VisualBasic コース] VisualBasicの概要、基 本文法とプログラミング演 習、教材作成、情報活用能 力の育成、等 [C・C++コース] C++Builderの概要、基 本文法とプログラミング演 習、教材作成、情報活用能 力の育成、等 [COBOLコース] COBOL85言語による構造 化プログラミング、判定、表 (テーブル)の利用、ファ イル処理の基本を含むプロ グラミング演習、等	

研修 分類	研修会又は講座の名称 (校種)〔研修予定人数〕	場 期	所 日	研修 日数	目 的	内 容
専 門 研 修	高 校 情 報 教 育 講 座	表計算・データベース (高・盲・聾・養) 〔25名〕	・教育センター 9/25～9/28	4日	実習助手、技能員を含む 教員に対し、校務処理 におけるコンピュータ活 用に関する研修を行い、 その指導力を高める。	表計算(Excel)とデー タベース(Access)の基礎と 応用、VBAによるプログラ ミング、成績処理等の校務 処理を中心とした例題演習、 情報活用能力の育成、等
	高 校 情 報 教 育 講 座	アプリケーション活用 (高・盲・聾・養) 〔25名〕	・教育センター 12/4～12/7	4日	実習助手、技能員を含む 教員に対し、情報処理 及び情報技術に関する研 修を行い、その識見と指 導力を高める。	PhotoShopを使った写真 画像処理入門、AutoCAD による製図、PowerPointに よるプレゼンテーション、 インターネットホームページ の作成、情報活用能力の 育成、等
	高 校 情 報 教 育 講 座	マルチメディア活用 (高・盲・聾・養) 〔25名〕	・教育センター 11/19～11/22	4日	実習助手、技能員を含む 教員に対し、コンピュ ータによるマルチメディ ア活用に関する研修を行 い、その指導力を高める。	Photoshopを使った写真 画像処理、Illustratorを 使ったイラスト画像の作 成、コンピュータアート作 品制作演習、情報活用能力 の育成、等
	高 校 情 報 教 育 講 座	インターネット技術 (高・盲・聾・養) 〔20名〕	・教育センター 12/17～12/20	4日	実習助手、技能員を含む 教員に対し、インター ネット技術に関する研修 を行い、ネットワーク管 理者としての技術と指導 力を高める。	UNIXの基礎、Webページ 構成ファイルのアップロ ードと編集、CGI(Perl・ C)による教育用ネットワ ークサービスの開発、Win dowsNTのASPとAccessに よるデータベース作成、Li nuxによるインターネット サーバーの構築、等
	31	学校カウンセラー(初級) 講座 (高・盲・聾・養) 〔50名〕	・教育センター 7/23～7/25	3日	教育相談に関する基礎 理論と技術について実践 的な研修を行い、その指 導力を高める。	学校教育相談の意義と役 割、発達期の心理、自己へ の気付き、相談面接演習(1)、 事例研究演習(1)、等
専 門 研 修	1	学校経営(A)講座 (小・中・高・盲・聾・養) 〔31名〕	・教育センター 前期6/6～6/8 中期8/29～8/31 後期1/21～1/23	9日 (3日 3日)	教頭に対し、学校経営 上の諸問題解決のための 研修を行い、学校経営に 関する識見を高める。	学校経営のPDSと管理 職の役割、学校教育の今日 的課題、教育目標の具現化 を図る学校経営、人間形成 を目指す学校経営と生徒指 導、学校経営に関する課題 研究、等
	2	学校経営(B)講座 (小・中・高・盲・聾・養) 〔31名〕	・教育センター 前期 6/13～6/15 中期 9/3～9/5 後期 1/28～1/30	9日 (3日 3日)	中堅教員に対し、学校 経営及び学年・学級経営 上の諸問題解決のための 研修を行い、学校経営、 管理に関する識見とリー ダーとしての意識を高め る。	学校経営におけるリーダ ーシップ、教育経営の評価、 学校教育の今日的課題、教 育目標の具現化と学校の教 育計画、生徒指導と学校経 営、学校・学年・学級経営 に関する主題研究、等

研修 分類	研修会又は講座の名称 (校種)〔研修予定人数〕	場 期	所 日	研修 日数	目 的	内 容
専門 研修	3 教育研究法講座 (小・中・高・盲・聾・養) 〔34名〕	・教育センター 前期6/20～6/22 中期9/25～9/27 後期1/23～1/25		9日 (3日 3日)	教職経験10年以上の教員に対し、教科等についての主題研究を通して、指導法の改善及び教育研究の手法に関する研修を行い、教育研究に関する識見と研究実践力を高める。	教育研究の進め方、教育研究の実際、授業の質的改善、教材研究の進め方、学習指導案とデータ収集、検証授業の実際、授業分析の仕方、学校教育と校内研修、教育研究法に基づく主題研究、等

【研修講座数 及び 研修予定人員】

	基本研修				職能研修			専門研修			特別 研修	計
	小学校 中学校 高等学校	盲学校 養護学校	特別支援 学校	職業 訓練 施設	職業 訓練 施設	職業 訓練 施設	職業 訓練 施設	職業 訓練 施設	職業 訓練 施設			
講座 数	0	0	0	0	0	0	0	0	31	3	0	34
研修 予定 人員	0	0	0	0	0	0	0	0	1,261	96	0	1,357

経験者研修 ・ の研修事業の内容については、関係課（教育指導課・スポーツ健康課）所管の研修に記載してある。

6 研修事業計画

(3) 専門研修

【養護教育センター所管研修】

研修分類	NO	研修会又は講座の名称 (校種)〔研修予定人数〕	場 期	所 日	研修 日数	目 的	内 容
専 門 研 修	1	養護教育基礎研修講座 (小・中・盲・聾・養) 〔40名〕 ・養護教育担当者コース ・通常学級担当者コース	養護教育センター	11/ 5~11/ 6	2日	小・中学校特殊学級担当 通級指導教室担当及び盲・ 聾・養護学校教職員のうち 養護教育経験が4年未満の 教職員に対して養護教育に 関する基本的事項について 研修を行う。また、通常学 級の中で特別な教育的配慮 を必要とする児童生徒を担 当している教職員に対して 児童生徒の見方、考え方等 について研修を行い、教職 員としての資質を高める。	「養護教育担当者」のコ ース、「通常学級担当者」 のコースに分かれての研修 児童生徒の行動の見方、考 え方、各障害の基礎的知識、 教育的配慮、日頃の授業に 生きる指導・内容・方法等
	2	聴覚・言語障害児の教育 研修講座 (幼・小・中・盲・聾・養等) 〔10名〕	養護教育センター	6/14~6/15	2日	盲・聾・養護学校、小・ 中学校等で聴覚障害児また は言語障害児を担当してい る教職員等に対して、障害 の状況についての理解を深 め、専門的知識・技能を修 得させ、指導力の向上を図 る。	聴覚・言語障害児の教育 聴覚・言語障害児とコミュ ニケーション、聴覚・言語 障害児と自立活動等
	3	障害児健康・安全教育研 修講座 (小・中・盲・聾・養等) 〔10名〕	養護教育センター	9/17~9/18	2日	盲・聾・養護学校及び小 ・中学校で障害児を担当し ている教職員等に対して健 康・安全教育の専門的知識 ・技能に関する研修を行い 指導力の向上を図る。	健康・安全教育、養護教 育における性教育、児童生 徒の心の理解とセルフケア 等
	4	肢体不自由児の教育研修 講座 (幼・小・中・盲・聾・養等) 〔10名〕	養護教育センター	7/ 3~7/ 5	3日	盲・聾・養護学校、小・ 中学校等で肢体不自由児を 担当する教職員に対して肢 体不自由教育の専門的知識 ・技能について研修を行い、 指導力の向上を図る。	肢体不自由児の手や体の 動き、障害の重い子ども のかかわり、コンピュータ 活用によるコミュニケーション 支援、個に応じた指導 の在り方、肢体不自由児の テクニカルエイド等
	5	学習障害児等の教育研修 講座 (小・中・高・盲・聾・養等) 〔35名〕	養護教育センター	6/26~6/28	3日	盲・聾・養護学校、小・ 中学校の教職員等に対して 学習障害児等についての基 礎的・基本的知識とその対 応の在り方について研修を 行い、その資質の向上を図 る。	学習障害児等の見方と援 助の実際、集団活動と関係 づくり、学習障害児等の指 導の実際、個別の指導計画 作成等
	6	自閉症児の教育研修講座 (幼・小・中・盲・聾・養等) 〔25名〕	養護教育センター	6/19~6/21	3日	自閉症または、自閉的傾 向のある児童生徒を担当す る教職員等に対して自閉症 児の教育に関する専門的知 識・技能について研修を行 い、その指導力を高める。	自閉症児の医学、行動の 理解と指導の視点、自閉症 児の指導内容・方法、 自閉症児の特性とかかわり 方、個別の指導計画作成等

研修分類	NO	研修会又は講座の名称 (校種)〔研修予定人数〕	場 期	所 日	研修 日数	目 的	内 容
専 門 研 修	7	重度・重複障害児の教育 研修講座 (盲・聾・養等) 〔10名〕	養護教育センター	9/26~9/28	3日	重度・重複障害児を担当 している教職員等に対して 重度・重複障害児の教育に 関する専門的知識・技能に ついて研修を行い、その資 質の向上を図る。	重度・重複障害児とQOL、 重度・重複障害児との コミュニケーション、教材 ・教具作成の視点、重度・ 重複障害児とのかわり方 等
	8	養護教育研究実践研修講 座 (前期・中期・後期) (小・中・盲・聾・養) 〔8名〕	養護教育センター	<前期> 6/11~6/12	2日	盲・聾・養護学校、小・ 中学校で障害児を担当する 中堅教員に対して指導上の 課題の解決や教育研究等の 効果的な進め方について研 修を行い、研究実践を通し て、教員としての資質と専 門性の向上を図る。	養護教育の課題と展望、 研究テーマの背景、教育研 究の進め方、研究計画の作 成、等
				<中期> 9/10~9/11	2日		研究経過報告、研究論文 のまとめ方、等
				<後期> 12/4~12/5	2日		研究結果のまとめ、研究 の発表、等
	9	障害幼児早期教育研修講 座 (幼・盲・聾・養等) 〔40名〕	養護教育センター	8/6~8/8	3日	障害幼児の早期からの教 育的かわりや教育相談等 の重要性を踏まえ、障害に 関する知識や技能、教育的 かわりの内容・方法につ いて研修を行い、指導力の 向上を図る。	障害幼児の特性の理解と かわり方、リズム遊び、 保育の実際、医学的観点か らの障害幼児の理解、保護 者への援助等
	10	心理アセスメント研修講 座 (初級/中級コース) (小・中・盲・聾・養) 〔20名〕 初級14名 中級6名	養護教育センター	9/20~9/21	2日	盲・聾・養護学校、小 ・中学校の教職員に対して、 心理アセスメントに関する 基礎的事項について研修を 行うとともに、分析や結果 の解釈等、日々の実践に密 着した知識・技能の習得を 図る。	心理アセスメントの基礎、 各種検査法の実際 (WISC- 初級、K-ABC中 級)結果の見方と教育アセ スメントの実際等
	11	障害児教育相談研修講座 (幼・小・中・盲・聾・養等) 〔10名〕	養護教育センター	8/30~8/31	2日	障害児を担当する教職員 等に対して教育相談に関す る専門的な研修を行い、各 学校を核とする教育相談の 充実を図る。	障害児の教育相談、よい 人間関係づくり、学校を核 とする教育相談、教育相談 の在り方、等
	12	知的障害児教科指導研修 講座 「体育」・「音楽」 (小・中・盲・聾・養等) 〔30名〕	養護教育センター	10/4~10/5	2日	盲・聾・養護学校、小・ 中学校の特殊学級で知的障 害児を担当している教職員 に対して「体育」・「音楽」 の各教科の指導を通じた授 業の改善・充実を図るため の専門的知識・技能と実践 力を養成する。	知的障害児の教科指導、 指導内容と方法、ムーブメ ントの理論と実際
13	領域・教科を合わせた指 導研修講座 「日常生活の指導」 (小・中・盲・聾・養等) 〔20名〕	養護教育センター	10/23~10/24	2日	盲・聾・養護学校、小・ 中学校の特殊学級を担当す る教職員に対して領域・教 科を合わせた指導「日常生 活」を通じた授業の改善・ 充実を図るための専門性と 実践力を養成する。	領域・教科を合わせた指 導、学習形態、日常生活の 指導の在り方と実際、 指導内容と指導計画等	

研修分類	NO	研修会又は講座の名称 (校種)〔研修予定人数〕	場 期	所 日	研修 日数	目 的	内 容
専門 研修	14	障害児教材・教具実技研修講座 (幼・小・中・盲・聾・養等) 〔20名〕	養護教育センター		3日	養護教育に携わっている教職員等に対して教材・教具の工夫と作成及び具体的な活用法等について研修を行い、指導力の向上を図る。	養護教育における教材・教具の意義、教材・教具の活用の視点、身近な素材を生かした教材教具の作成等
	15	障害児情報教育指導者研修講座 (小・中・盲・聾・養等) 〔10名〕	養護教育センター		3日	盲・聾・養護学校、小・中学校で情報教育の指導的立場にある教職員等に対して養護教育におけるコンピュータ活用に関する研修を通して、情報教育に関する専門性と指導力の向上を図る。	養護教育における情報教育の在り方、ソフトウェア作成の視点と実際、コンピュータとハードウェア、情報教育ネットワークの活用等

【研修講座数 及び 研修予定人員】

	基本研修				職能研修			専門研修			特別 研修	計
	障 児 教 材 研 修	教 具 研 修	情 報 研 修	他 研 修	教 職 員 研 修	教 師 研 修	他 研 修	盲 聾 養 護 研 修	小 中 研 修	他 研 修		
講座数	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	15
研修 予定 人員	0	0	0	0	0	0	0	298	0	0	0	298

経験者研修 ・ の研修事業の内容については、関係課（養護教育課）所管の研修に記載してある。

【研修講座総数 及び 研修予定人員総数】

	基本研修				職能研修			専門研修			特別 研修	計
	障 児 教 材 研 修	教 具 研 修	情 報 研 修	他 研 修	教 職 員 研 修	教 師 研 修	他 研 修	盲 聾 養 護 研 修	小 中 研 修	他 研 修		
講座数	8	7	6	4	12	18	2	4	53	6	59	179
	25				32			63				
研修 予定 人員	334	581	893	144	954	3,023	127	3,688	4,069	716	403	14,932
	1,952				4,104			8,473				

研究学校（地区）指定計画

1 はじめに

教育活動の展開に当たっては、「計画・実施・評価」のサイクルの中で、学校や教師が創意工夫等による改善を加えることにより、更に効果的にすることが必要である。

このため、各学校では、地域や学校あるいは児童生徒の実態に関する調査、これまで実施してきた教育活動についての評価等を通して、効果的な教育活動の展開を図るよう研究実践に努めなければならない。

学習指導要領に基づく教育過程の実施に当たって、総合的、実践的かつ先導的研究開発に関する参考資料を各学校において整備することは、重要なことである。

したがって、県教育委員会は、文部科学省の研究学校（地区）指定のほか、地域の実情等を考慮しながら、計画的に研究学校（地区）を指定して研究を委嘱し、その研究成果の普及を図り、個々の学校の創意ある教育活動の展開を促進・援助するものである。

2 研究学校（地区）指定計画の構想

(1) 研究学校（地区）指定

研究学校（地区）指定は、学校種別、規模、地域の実情等を考慮して行う。

(2) 研究領域

研究領域は、学校経営全般にわたるが、各教科・道徳・特別活動等の調整を図り、研究学校（地区）における全教職員が研究参加できる領域となることを原則とする。

(3) 研究の促進・援助

研究学校（地区）指定においては、開発に重点を置いた研究を推進するために、所管課が次の事項について研究学校（地区）に対し、指導・援助する。

研究の進め方について

研究過程における実践について

研究の総合的な評価の在り方について

研究成果のまとめ方について

(4) 研究成果の普及

所管課は、研究成果や情報を学校が継続して組織的に利用できるように、普及活動の強化を図り、その成果が各学校の実践に生かされるようにする。

(5) 経費

県教育委員会は、市町村立学校に対し、研究学校の調査・研究に必要な経費として、定める額を補助する。

(6) その他

研究学校（地区）の詳細な実施要領は所管課が作成し、指定学校（地区）に配付する。

3 研究学校（地区）指定事業計画

(1) 文部科学省研究学校（地区）指定事業計画

(関係課主管指定校)

課	事業名	目的	指定期間	研究学校(地区)名
教育指導課	中高一貫教育実践研究事業	学校の個性化・多様化の一環として、県立高等学校及び市町村立中学校を実践協力校として指定し、教科指導、生徒指導、特別活動指導、高等学校の入試方法等、中高一貫教育の内容・方法や中高の接続の方法について実践研究を行う。	平成12年度～ 職13年度	富岡高校川内分校 川内村立 川内中学校
教育指導課・ 養護教育課・ 生涯学習課	先進的教育用ネットワークモデル地域事業	教育センターを拠点として学校を高速回線で接続する地域教育用ネットワークにおいて、学校教育におけるインターネットの有効活用や地域教育用ネットワークの在り方に関する先導的研究開発を行う。	平成10年度～ 職15年度	郡山市立 緑ヶ丘第一小学校 郡山市立 安積中学校 郡山市立 行健中学校 福島南高等学校 福島明成高等学校 郡山北工業高等学校 福島成蹊女子高等学校 郡山女子大学附属高等学校 盲 学 校 聾 学 校
		福島市立 福島第三小学校 福島市立 吉井田小学校 福島市立 野田中学校 福島市立 福島第四小学校 福島市立 湯野小学校 福島市立 清水中学校 福島市立 三河台小学校 福島市立 松川小学校 伊達市立 伊達小学校 福島市立 森合小学校 福島市立 福島第一中学校 伊達市立 伊達中学校 福島市立 瀬上小学校 福島市立 茂庭中学校 郡山市立 朝日が丘小学校		
教育指導課・ 養護教育課・ 生涯学習課	マルチメディア活用学校間連携推進事業	学校を高速回線で接続する地域教育用ネットワークにおいて、マルチメディアを活用して学校間連携を推進し、インターネットの有効活用や地域教育用ネットワークの在り方に関する先導的研究開発を行う。	平成11年度～ 職15年度	郡山市立 富田中学校 郡山市立 御館中学校 郡山市立 移中学校 葛尾村立 葛尾小学校 葛尾村立 葛尾中学校 あぶくま養護学校
		郡山市立 小原田小学校 郡山市立 富田東小学校 郡山市立 郡山第三中学校 郡山市立 富田西小学校 郡山市立 郡山第一中学校 郡山市立 郡山第六中学校		
教育指導課	次世代ITを活用した未来型教育研究開発事業	次世代IT（高速広域回線網などの最先端の情報技術）を活用したネットワーク環境や情報機器等により、最先端の情報通信環境を構築し、教育利用や教育方法の研究開発を行う。	平成12年度～ 職15年度	須賀川養護学校学区大分校 聾学校福島分校 宇治法 福島高等学校 宇治法 桜の聖母中・高等学校 日本大学東北 郡山高校 宇治法 尚志高等学校 宇治法 石川高等学校 福島大学附属小学校校 福島大学附属中学校校 福島大学附属養護学校校
		伊達市立 伊達東小学校 西会津町立 尾野本小学校 西会津町立 西会津中学校 梁川町立 梁川中学校 西会津町立 群岡小学校 福島工業高等学校 西会津町立 新郷小学校 西会津町立 新郷中学校 福島商業高等学校 西会津町立 奥川小学校 西会津町立 奥川中学校 保原高等学校 西会津町立 野沢小学校 西会津町立 群岡小学校 西会津高等学校		
教育指導課	研究開発学校	小学校において、地域や学校、児童の実態等に応じて、横断的、総合的な学習や児童の興味、関心等に基づく学習など、教育課程の研究開発を行う。（小学校における総合的な学習の時間の研究開発）	職11年度～ 職13年度	福島市立 福島第三小学校
	生きる力をはぐくむ読書推進活動事業（読書活動推進地域事業）	「子ども読書年」及び移行措置による新学習指導要領の実施を契機として、子どもたちの「生きる力」をはぐくむ読書活動の一層の推進に資するため、学校図書館を含めた学校における学習活動、公共図書館の活用、家庭での働きかけなどを相互に連携させながら、学校・家庭・地域社会が一体となった読書活動を推進するための総合的な取り組みを推進する。	平成12年度～平成13年度	相馬郡小高町（推進協力校） 小高小学校校 福小小学校校 福金房小学校校 鳩原小学校校

課	事業名	目的	指定期間	研究学校(地区)名
教 指 導 課	学校におけるボランティア等活用推進事業	特色ある教育活動の展開「総合的な学習の時間」の効果的な実施や開かれた学校づくりの積極的な推進等のために、学校の教育活動に地域の人材を学校ボランティア等として効果的に活用し、地域の活力の導入・活用を推進する方策等について実践的な研究を行う。	平成12年度～平成13年度	保原町立 保原小学校 郡山市立 熱海中学区 郡山市立 西田中学区 小野町立 小野中学区 小野町立 浮金中学区 石川町立 石川中学区
	生徒指導総合連携推進事業	市町村等を単位とした生徒指導総合連携推進地域を指定し、地域の構成員である家庭、学校、地域住民、企業、民間団体、関係機関が一体となって、各地域がそれぞれ抱える生徒指導上の問題に対する実践的な取組を行う。	平成12年度～平成13年度	矢 吹 町
	道徳教育体験活動推進事業	これまで個々に実施していた体験的活動事業を道徳教育推進のための事業として再構築し、家庭や地域の協力を得て行う道徳性を養う体験的活動の在り方等について実践的な調査研究を行い、心の教育の推進に資する。	平成12年度～平成13年度	い わ き 市
	子育て支援活動の推進に関する調査研究	近年の少子化、都市化等の進展の中で、幼稚園が地域社会にその教育機能や施設を開放し、地域の幼児教育センター的な役割を果たしていけるように実践的な研究を行う。	平成12年度～平成13年度	会 津 本 郷 町
	体育・スポーツ推進校	体力の向上や体づくり運動、課題解決型の学習、武道指導、「総合的な学習の時間」における自然体験的活動などを通じた心身の健康づくり、運動部活動などから複数のテーマを選び総合的に実践研究を行う。	平成11年度～平成13年度 平成12年度～平成13年度	安達町立 油井小学校 いわき市立 内郷第一中学校 白河市立 みさか小学校 山形町立 山都中学校
養 護 教 育 課	盲・聾・養護学校新教育課程推進事業	盲・聾・養護学校において自立活動や総合的な学習の時間の取り組みを行うとともに、その成果を保護者や地域に発信し、積極的に地域における特殊教育の拠点としての魅力あふれる学校づくりを行う。	平成12年度～平成13年度	須賀川養護学校
	特殊教育における福祉・医療との連携に関する実践研究	本県における教育と医療、福祉関係機関がそれぞれの機能をより効果的に果たす相互の連携体制確立する方策について実践的な研究を行い、盲・聾・養護学校における実践的な医療的バックアップ体制の条件整備の基盤形成に資する。	平成13年度	会津養護学校 平養護学校 (予定)
	学習障害児(LD)に対する指導体制の充実事業	学習障害児の指導方法の在り方についてモデル事業を実施し、また、指導内容の充実を図るため、専門家による巡回相談を行うことにより、学習障害児に対する指導体制の整備、効果的な指導を行うための方策について実践研究を行う。	平成13年度～平成14年度	(未 定)

課	事業名	目的	指定期間	研究学校(地区)名
養護教育課	障害のある子どものための教育相談体系化推進事業	障害のある子どもについて、教育委員会が中心となり、医療・福祉機関と連携を図りつつ、早期から保護者の悩みに応え、適切な教育の場と可能なサービスについて情報を提供し、就学後の教育相談にも応じるトータルケアの教育相談の体制整備を図る。	平成13年度～平成14年度	(未定)
スポーツ健康課	歯・口の健康づくり推進指定校	児童の口腔の健康づくりを実践できるようにするための具体的な方法について研究を行い、生涯にわたる心身の健康な生活習慣の基礎づくりに資する。	平成13年度～平成14年度	榎葉町立 榎葉南小学校
	健康教育総合推進モデル事業	学校内の養護教諭や学校栄養職員など専門性を有する教職員や学校外の専門家を十分活用した組織的・体系的な教育活動の推進を図るため「モデル地域」で設定した健康課題について実践的、総合的な調査研究を行う。	平成13年度～平成15年度	東和町
	交通安全教育実践地域事業	「交通安全教育実践地域」を設置し、交通ルールの遵守や交通マナーの向上を重視した交通安全教育を行い、高校生の悲惨な交通事故を防止するとともに、交通社会人としての必要な資質を身につけさせる。	平成12年度～平成13年度	本宮高等学校
	衛生管理推進地域指定事業	効果的な衛生管理体制の在り方について実践的な調査研究を行い、その成果の普及を図る。	平成12年度～平成14年度	大信村
	食生活に関する教育実践事業	学校関係者のみならず保護者や地域の関係者等が協力して、食生活の正しい理解と望ましい習慣を身につけさせるための実践的な研究を行う。	平成12年度～平成13年度	大滝町立 上大越小学校

(2) 県教委研究学校(地区)指定事業計画

(関係課主管指定校)

課	事業名	目的	指定期間	研究学校(地区)名
養護教育課	であいふれあいサポ-トプラン	障害のある児童生徒が、多くの人々と出会い、ふれあいを通して自ら学び、自ら考え、主体的に行動できる「生きる力」を育み、社会参加・自立できるよう支援する。	平成13年度～平成14年度	郡山養護学校 あぶくま養護学校 富岡養護学校 豊学校

(3) その他の研究学校(地区)指定事業計画

日本体育学校健康センター

(スポーツ健康課主管指定校等)

事業名	目的	指定期間	研究学校(地区)名
学校安全に関する研究	学校における安全教育及び安全管理に関する実践的研究を行い、学校安全の向上に資する。	平成12年度～平成13年度	須賀川市立 和田幼稚園

予 定 刊 行 物

(関係課主管予定刊行物)

課	刊 行 物 名	内 容	発 行 月 日	規 格
教 育 指 導 課	研修の手引 - 幼稚園新規採用教 員研修のために -	幼稚園初任者のための手引書	平成13年 4月	A 6
	幼稚園等新規採用 教員研修実施報告書	幼稚園等新規採用教員の研修内容及び実施状 況	平成14年 3月	B 5
	道徳実践活動 学習教材研究開発	児童生徒が多様な学習活動が展開できる学習 教材	平成14年 3月	A 4 CD-ROM
	学校教育ハンドブ ック - 学校教育の手引第4次改訂版 -	学校教育全般にわたって、法令等に基づいた 正しい理解のための手引書	平成14年 3月	A 5
	初任者研修充実 のために	初任者研修のための手引書	平成14年 3月	A 4
	初任者研修テキスト	初任者研修のための活用テキスト	平成13年 5月	A 4
	研修の手引 初任者研修のために	初任者指導教員のための手引書	平成13年 5月	A 4
	指導要録記入の手 引	新学習指導要領に基づく指導要録記入の手引 書	平成14年 3月	A 4
	高等学校教育課程 編成の手引き - 各教科編 -	新学習指導要領の趣旨の解説	平成13年度末	A 4
	高等学校教育課程 編成の手引 - 特別活動編 -	新学習指導要領の趣旨の解説	平成13年度末	A 4
	新規採用養護教諭 研修指導者用マニ ュアル	新規採用養護教諭について指導を要する基本 的なものについて踏まえるべき事項をまとめ た手引書	平成14年 3月	A 4
	新規採用養護教諭 研修実施報告書	新規採用養護教諭研修実施報告書及び実施状 況について	平成14年 3月	A 4

課	刊行物名	内 容	発行月日	規 格
教育指導課	養護教諭経験者研修報告書 ・	養護教諭経験者研修 ・ ・ の参加者の実践報告書	平成14年 3月	A 4
	学校教育指導委員(学校保健担当)研究報告書	県立学校学校教育指導委員の研究報告書	平成14年 3月	A 4
	福島県児童生徒の健康・体力・運動能力の現状	児童生徒の体格・健康及び体力・運動能力に関する資料	平成14年 3月	A 4
養護教育	軽度障害児指導法セミナー資料	軽度障害児の教育を進めていく上で役立つ留意点を具体的に表したものの	平成13年 8月	A 5
スポーツ健康課	スポーツと健康教育	スポーツ健康課関係事業等及び資料	平成14年 3月	A 4
	新規採用学校栄養職員研修指導者用マニュアル	新規採用学校栄養職員について、指導を要する基本的なものについて踏まえるべき事項をまとめた手引書	平成14年 3月	A 4
	新規採用学校栄養職員研修実施報告書	新規採用学校栄養職員研修実施状況報告書	平成14年 3月	A 4
教育センター	所報ふくしま「窓」	教育関係者の提言、県内教員の教育研究についての紹介等を掲載する。	平成13年 7月 平成13年11月 平成14年 2月	A 4
	研究紀要	「生きる力を育てる学校教育の改革」を主題とし、学校経営の在り方、教科指導、情報教育、教育相談の在り方等について提言する。	平成13年 5月	A 4
	資料目録	教育センターが入手した教育資料の年次別一覧表	平成14年 3月	A 4
養護教育センター	養護教育センター要覧	養護教育センターの案内	平成13年 5月上旬	A 4
	所報「養護教育」	教育関係者の提言及び研究・研修・相談事業の案内	平成13年 8月 平成14年 2月	A 4
	研究紀要	養護教育における今日的課題を明らかにし、学校との連携の元に調査研究した実践を発表する。	平成14年 2月	A 4

教職員現職教育担当者会議設置要綱

(平成3年5月18日教育長決裁)

(設置)

第1条 「第5次福島県長期総合教育計画」の施策の基本方向に基づき、教職員研修の体系的・効果的推進の方途の検討などを行うため、「教職員現職教育担当者会議」(以下「担当者会議」という。)を教育庁内に設置する。

(組織等)

第2条 担当者会議は、下記の者をもって構成する。

教育指導課	課長	主幹	副主幹	主任指導主事	担当指導主事
総務課		政策調整	副参事	主任管理主事	
教育振興課		主幹	副主幹	主任管理主事	担当管理主事
養護教育課		主幹		主任指導主事	担当指導主事
スポーツ健康課		主幹		主任主査	担当栄養技師
教育センター		次長(業務担当)		教育経営部長	
				教育経営部 主任指導主事	担当指導主事
養護教育センター				事業部長	研修・研究担当 主任指導主事

2. 担当者会議には、必要に応じ、前項以外の職員を参加させることができる。

3. 担当者会議は、教育指導課長が招集し、会議を主宰する。

(協議事項)

第3条 担当者会議は、次の事項について協議する。

- (1) 関係課、教育センター、養護教育センターが実施する教職員研修の目的・内容・方法及び日程等に関する事。
- (2) 教職員研修事業の研修人員に関する事。
- (3) 研究学校(地区)指定計画及び研究成果の普及に関する事。
- (4) 手引、資料等の刊行物の発行に関する事。
- (5) 調査研究の調整に関する事。
- (6) その他、教職員研修に関する事。

(実施)

第4条 担当者会議において立案された施策については、教育長の決裁を得て実施する。

(庶務)

第5条 担当者会議の庶務は、教育指導課指導グループにおいて処理する。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほかは、担当者会議の運営に関し必要な事項は教育指導課長が定める。

附 則

1. この設置要綱は、平成3年5月18日から施行する。
2. 教職員現職教育企画調整会議設置要綱(昭和61年4月1日施行)・現職教育計画推進委員会設置要綱(平成元年4月28日施行)は廃止する。
3. この設置要綱は、平成5年4月21日から施行する。
4. この設置要綱は、平成7年6月12日から施行する。
5. この設置要綱は、平成8年4月9日から施行する。
6. この設置要綱は、平成9年6月13日から施行する。
7. この設置要綱は、平成11年4月15日から施行する。
8. この設置要綱は、平成12年6月16日から施行する。
9. この設置要綱は、平成13年4月1日から施行する。